



令和8年（2026年）3月30日

越谷市長 福田 晃 様

越谷サンシティのあり方に関する審議会  
会長 松岡 拓公雄

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の策定について（答申）

令和7年（2025年）3月28日付け、越南推第81号をもって諮問のありました今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の策定について、別紙のとおり答申します。



## 答 申

本審議会において、今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（以下、「方針」。）の策定について、慎重に調査及び審議を行い、別添のとおり方針（素案）を取りまとめました。

方針に関する審議においては、今後の越谷サンシティの核となる機能について、ホールの改修案、建て替え案及びアリーナの新築案について検討した結果、幅広い市民活動や文化・芸術活動等の継続性や、にぎわい創出への寄与、長期的な視点で比較した将来の財政負担などを理由として「ホールを2,000席規模で建て替える」こととしました。

整備にあたっては、将来にわたり市に大きな財政負担を課すこととなりますが、市の将来の発展を見据え、さまざまな方策により財源を確保するなど、その負担を縮減しながら、本事業の所期の目的である南越谷駅・新越谷駅周辺エリアのにぎわい創出が実現されることを願い、ここに答申します。

なお、方針（素案）を作り上げる審議の過程において出された各委員の意見（参考1）、さらには、審議会が実施した意見公募手続において市民から提出されたご意見（参考2）について、今後の方針策定及び事業推進にあたって十分参考とされるよう申し添えます。

別添 今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（素案）

参考1 審議会からの参考意見

参考2 意見公募手続の概要及び実施結果



今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（素案）

令和8年（2026年）3月



## 目次

1	はじめに	1
	(1) これまでの検討経緯	
	(2) 本事業を取り巻く環境の変化	
	(3) 方針の位置づけ	
2	新たな越谷サンシティのコンセプト	3
	(1) シビックプライドを醸成するシンボリックな空間	
	(2) 人が集い、人から愛される施設	
	(3) にぎわい創出と経済効果を実現する施設	
3	施設整備・機能	5
	(1) 施設整備の基本的考え方	
	(2) 施設整備における留意点	
	(3) 「公共施設（機能）」と「民間施設」の方向性	
4	事業手法	12

# 1 はじめに

## (1) これまでの検討経緯

現在の越谷サンシティは、昭和54年（1979年）に開業し、市民ホールや商業施設を備えた複合施設として、文化・芸術の拠点、地域のにぎわいの中心として親しまれてきました。しかし、開業から40年以上が経過し、施設の老朽化が進行するとともに、隣駅の大型商業施設の開業など、商圈の変化により駅周辺のにぎわいは低下し、施設の再整備の検討が求められる状況となっていました。

こうしたなか、平成31年（2019年）3月に南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出懇談会を設置し、令和2年（2020年）3月に南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想を策定しました。そして、同年6月に新たな越谷サンシティの整備に向けた検討を行うため「越谷サンシティ整備懇談会」を設置し、その報告等を踏まえ、市は、令和3年（2021年）4月に越谷サンシティ整備基本計画（以下「基本計画」という。）を策定しました。この計画では、建物すべてを建て替えることとしていましたが、令和5年5月、今後の公共施設整備にかかる財政負担や社会経済情勢の変化等を総合的に勘案し、ホール棟は「大規模改修（既存施設のリノベーション）」により整備する見直し案を公表しました。

この見直しに対し、市民から請願「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（仮称）の決定の件」が提出され、同年6月定例会市議会において採択されました。請願では、市長の附属機関を設置し、「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（以下「方針」という。）」を策定することが求められ、これを受けて市は、令和6年9月に条例を制定し、令和7年3月、越谷サンシティのあり方に関する審議会（以下「審議会」という。）を設置しました。

審議会では、新たな越谷サンシティの核となる機能やその規模、整備手法について、比較検討を行ったほか、施設のコンセプトやその他の機能、整備の考え方などについて協議を行い、「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（素案）」を取りまとめました。

## (2) 本事業を取り巻く環境の変化

越谷市の人口は、令和3年をピークに減少局面を迎えており、第5次越谷市総合振興計画における将来人口の推計では、令和42年（2060年）に約26万人まで減少し、市の人口に占める65歳以上の人口の割合は約35%に達するとされています。

また、越谷サンシティと同時期に建設した市立病院などを含め、市の施設の7割近くが建設後30年以上を経過しており、近年の建設資材や人件費等の高騰などを踏まえると、修繕や建て替えなどに膨大な費用が生じることとなります。さらに、市の財政支出において、少子高齢化等に伴う社会保障関連経費などが増加しており、今後も本市の財政運営は厳しい状況が続くものと予測されます。

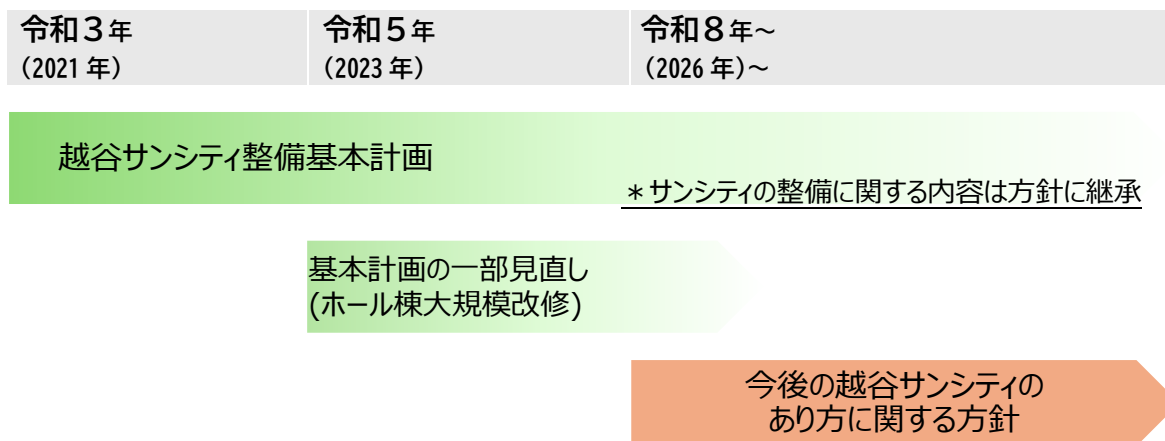
審議会では、こうした本市の将来人口や人口構造、財政状況など、本事業を取り巻く環境の変化などを踏まえ、調査・審議が行われました。

## (3) 方針の位置づけ

これまで、新たな越谷サンシティの整備については、令和2年度に開催した越谷サンシティ整備懇談会からの報告書や市民ヒアリング等の取組みを踏まえて策定した基本計画に基づき整備の検討を行ってきました。

審議会は、基本計画のコンセプトや、施設整備・機能、事業手法といった骨子及びそれらの主旨を継承しながら慎重に調査・審議を重ね、方針を取りまとめました。

この方針は、今後、基本計画に代わり、越谷サンシティの整備の基本となる考えを示すものです。



## 2 新たな越谷サンシティのコンセプト

本コンセプトは、基本計画において示したコンセプトを継承しつつ、審議会での意見を踏まえ、必要な見直しを行い、改めて整理したものです。

### (1) シビックプライドを醸成するシンボリックな空間

新たな越谷サンシティは、これまでの歴史を踏まえ、引き続き本市の文化・芸術振興の拠点として、南越谷駅・新越谷駅周辺エリア、ひいては越谷市への市民の誇りや愛着を高める施設とするとともに、文化・芸術活動を「する・見る・支える」といったかかわりを通じてこのエリアのにぎわい創出の担い手となる市民を育む空間を目指します。

また、鉄道が交差し、「中核市 越谷の顔・玄関口」とも言えるこのエリアにおいて、エリアのランドマークとしてシンボリックな施設となることを目指します。

### (2) 人が集い、人から愛される施設

新たな越谷サンシティでは、これまでの市民ホールと同様、日々文化・芸術活動などに取り組む市民が、この越谷サンシティを舞台にその成果を発表し、やりがい、生きがいを感じてもらうとともに、様々なイベントの鑑賞機会等を提供することで、市内外から多くの人が集う空間を目指します。

さらには、現在も多くの市民に利用されている図書室や、人が集まり、憩うことのできる広場などを公共機能として整備するとともに、それらとの親和性を考慮した民間施設を整備することで、ホールのイベント時だけでなく、日常的に様々な世代の人が利用したくなる、多くの人に愛される施設、空間の形成を図ります。

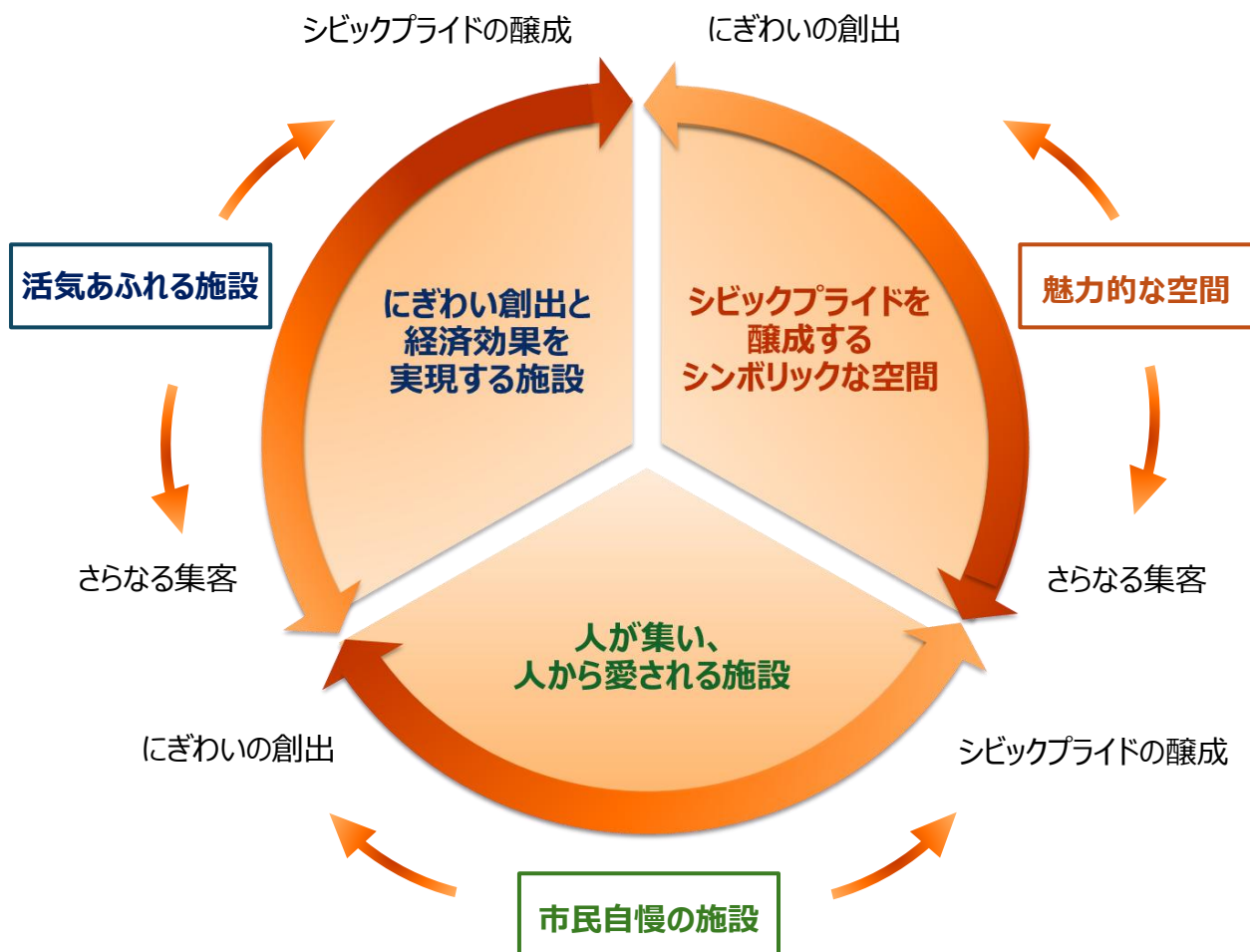
### (3) にぎわい創出と経済効果を実現する施設

新たな越谷サンシティの整備は、交流人口と経済効果の拡大を実現するにぎわいの創出が求められており、市内外から人が集い、交流し、文化創造や産業振興につながる空間を目指します。

さらには、施設の再整備にとどまらず、年間を通じて地元商店会等とイベントを開催するなど、住民・企業・商店会・行政等が連携し、南越谷駅・新越谷駅周辺エリアの回遊性への寄与等、エリア全体への経済効果も重視し、投資に見合った成果を追求します。

## 【コンセプトイメージ】

3つのコンセプトは、それぞれが繋がりを持ち、相乗効果を発揮します。



### \*シビックプライド

都市や地域に対する住民の誇りや愛着を高め、地域の魅力を高めることで、住民自らが主体的にまちづくりを促進する概念

### 3 施設整備・機能

新たな越谷サンシティは建物を建てることが目的ではなく、時代やとりまく環境、地域のニーズ等の変化に応じて、空間の活用や設備、機能の更新などに柔軟性を持たせ、持続可能な施設とする必要があります。この視点を前提として、「2 新たな越谷サンシティのコンセプト」で示した3項目を実現するために、施設整備を進めるうえで基本となる考え方や留意するべき点、「公共施設（機能）」・「民間施設」の方向性について整理します。

なお、施設規模の詳細、施設の配置等については、今後、事業者公募に向けて手続きを進めるなかで、「実施方針」や「要求水準書」において定めていきます。

#### (1) 施設整備の基本的考え方

##### ① 核となる機能

越谷サンシティの核となる機能については、審議会において、当初の基本計画に示されていたホール棟の建て替え案に加え、市が基本計画を見直して公表したホール棟の大規模改修案、さらには、ホールに代えてアリーナを新築する案を、4つの評価軸（にぎわい創出への寄与、市民（利用者）への影響、市の財政への影響、周辺環境への影響）と12の視点で評価、比較検討を行いました。

協議においては、市民の文化活動の拠点としての利用しやすさや既存施設の高い稼働率、図書館等との複合施設を評価する意見などから核となる機能をホールとすること、さらには、その整備手法として、将来的な市の財政負担や他の市民サービスへの影響を危惧し、大規模改修を支持する意見があがった一方、来訪者数の増加、経済効果の拡大、商業棟と合わせた一体的な整備といったにぎわい創出を求める意見や財源の確保策に関する意見などが出され、2,000席規模に建て替えることとしました。

## 【参考】“核となる機能” 審議会の協議における主な意見（要旨）

### ◆「ホール」・「アリーナ」に関する意見

ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の稼働率の高さから、必要性が明確</li> <li>・稼働率は高いが、地元のにぎわいに寄与していない</li> <li>・市民が使いやすく、受け入れるコンテンツが豊富</li> <li>・地域文化を支えてきた歴史があり、現地からなくなることは大きな損失</li> <li>・図書館等と複合した施設は、多くの市民が日常的に使える施設になる</li> <li>・既存施設を利用している団体の会員の満足度が高い</li> <li>・アリーナに比べ面積の制約が少なく、併設する施設を柔軟に設計できる</li> </ul>
アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外から人を集め、スポーツを通じた魅力発信により経済効果が生まれる</li> <li>・市民サービス中心でなく、経済効果を生む“稼ぐ”施設とするべき</li> <li>・市税収入等、市の財源確保につながる</li> <li>・アリーナに要する建築面積から、併設する施設が制限される</li> <li>・現地にホールとなると、学校や文化団体等が利用できない期間が生じる</li> <li>・5千～1万の来訪者に周辺の店舗等が対応できない可能性</li> </ul>

### ◆ホールの「建て替え」・「大規模改修」に関する意見

建て替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力向上が周辺商業施設の活性化、地域全体のにぎわい創出に寄与する</li> <li>・資金を投入するのであれば、中途半端ではなくレイアウトから考えるべき</li> <li>・使う人の動きやすさ、収益、集客しやすい席数、イベントの作りやすさ</li> <li>・償還期間の延長等により、長期的に見て修繕と建替えの財政負担の差を縮めることが可能</li> <li>・大きな箱物が将来の負担となり、他の市民サービスが疎かになりかねない</li> <li>・座席数が増えることにより、利用する市民の使用料が高くなる懸念</li> </ul>
大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の市立病院等の建替えや改築を見越して少ない予算額で整備すべき</li> <li>・市民の負担を可能な限り抑制することが重要</li> <li>・将来のリスクを見込めない中では、相対的にリスクの低い改修とするべき</li> <li>・人口減少等、社会構造が変化するなか、30年、50年後の想定は不可能</li> <li>・大規模改修に関する技術的検討が不十分で費用などの判断ができない</li> <li>・修繕では躯体を残すため、制約が生まれ、柔軟な機能追加等が行えない</li> </ul>

## ② 市の財政負担の考え方

新たな越谷サンシティの整備にあたっては、費用対効果を検証するとともに、財源確保に資する制度の活用について検討し、国の補助金や、地方債、地方交付税などの地方財政措置等による財政負担の縮減に努めます。

また、県の補助金の活用やネーミングライツ（命名権）設定等の民間との連携などによる財源確保や、財政負担の平準化に努めるとともに、建設費や運営費の変動リスクを注視し、適切に対応することとします。

さらに、市全体の公共施設にかかる運営コストや維持管理費用を削減する観点から、越谷サンシティに他の施設や機能を集約することについても検討します。

## (2) 施設整備における留意点

### ① 民間活力の活用

既存の越谷サンシティは、当時から先進的な官民連携手法により整備・運営され、市単独では難しい施設の整備を実現してきました。新たな越谷サンシティの整備では、財政負担を抑えつつ、複合的な機能を備え、にぎわいを創出することが重要です。そのため、民間事業者の企画力や運営力を活用し、利用者の利便性向上、コスト縮減や土地の有効活用を図ります。また、こうした連携により、柔軟なサービス提供や新しい価値の創出を目指します。

### ② 災害対応機能の充実

新たな越谷サンシティは、現状と同様、地域住民等が災害から命を守るために緊急的に避難することができ、避難者が災害の危険がなくなるまでの間、滞在することができる指定緊急避難場所・指定避難所として整備します。

また、越谷サンシティは、南越谷駅、新越谷駅から至近に位置することを踏まえ、発災時の帰宅困難者の受け入れも念頭に、耐震性の確保に加え、非常用電源や備蓄スペースを確保するなど、災害時に地域の安全を守る防災施設として機能の充実を図ります。

### ③ 気候変動への対応

市が計画的に地域レベルでの温暖化対策や気候変動に強いまちづくりを進めるうえで、新たな越谷サンシティにおいても環境負荷の低減は重要な視点です。これを実現するために、省エネルギー性能の高い建材や設備の採用を検討し、快適性と環境性能の両立を図ります。

### ④ 新たな技術の導入・活用

新たな越谷サンシティでは、例えば、施設の利便性やサービスの向上を図るためにAIやIoTといったデジタル技術や、施設の環境性能を高めるために脱炭素に向けた省エネルギー技術や再生可能エネルギーなど、新たな技術の導入・活用を検討します。

### (3) 「公共施設（機能）」や「民間施設」の方向性

新たな越谷サンシティにおける施設の整備内容は、市が整備主体となる「公共施設（機能）」と民間事業者が整備主体となる「民間施設」に区分することができます。

公共施設（機能）としては、これまで越谷サンシティが市民の文化・芸術の拠点として親しまれてきた歴史を踏まえ、引き続き市民ホール（大ホール、小ホール、展示ホール）のほか、図書室、出張所、広場を位置付けます。

民間施設については、民間事業者の創意工夫を活かし、越谷サンシティひいては南越谷駅・新越谷駅周辺エリアの魅力向上に繋がる機能の導入を図ります。

また、来訪者が安全かつ快適に移動、適度な滞在ができるよう、敷地内及び敷地外の適切な動線に配慮し、来訪者の利便性、滞在性の向上を図ります。

#### ① 公共施設（機能）の方向性

##### ア 市民ホール(大ホール、小ホール、イベントホール(旧展示ホール))

現在の越谷サンシティの特性や成り立ち、大ホールの稼働率の高さ、幅広い市民活動、文化・芸術活動に利用されていることを踏まえ、新たな越谷サンシティにおいても、大ホールを整備していくこと、そして、興行開催等での集客による、にぎわい創出等の観点から大ホールの規模は2,000席とします。

このほか、表3-(2)-①のとおり、小ホールについても、大ホール同様、既存施設の利用状況に鑑み、新たな越谷サンシティにおいても同程度の規模で整備します。また、展示会をはじめ、さまざまな会議やレセプションなどにも使用できるよう、現在の越谷サンシティの展示ホールと宴会場の機能を集約するなどし、イベントホールとして現在の展示ホールと同規模以上で整備します。

そして、現在のホールは、客席、楽屋、トイレ等において、ユニバーサルデザイン、災害時の対応といった観点からの課題も指摘されています。さらに、音響機能や座席配置、舞台面積等についても改善の余地があり、より利便性の高い施設となるよう、事業者や利用者との意見交換をしながら、今後検討を進めます。

【表3-(2)-① 市民ホールの機能と規模】

具体的な機能	規模
大ホール	2,000席程度
小ホール	現状の小ホール（490席）と同程度
イベントホール （旧展示ホール）	現状の展示ホール（394.8㎡）と同程度以上

## イ 図書室

多くの利用者が訪れる現在の図書室は、市民の生涯学習や文化活動において欠かせない施設となっており、幅広い年代の市民に日常的に利用されていることを踏まえ、現状と同様の図書室機能を維持しつつ、カフェなどのコミュニティスペースの併設などにより、魅力的な図書室となるよう、具体的な条件を検討していきます。

## ウ 出張所

現在、各種行政手続きに対応する出張所は、市の南部エリアに居住する市民や駅利用者にとって利便性の高い施設となっているため、引き続き同様の機能を維持していきます。

## エ 広場

広場は、単なる空間ではなく、まちと施設をつなぐ空間、にぎわい創出の核となる場として整備することが重要です。

適度に緑を配置し、日陰や休憩スペースを確保するとともに、芝生広場のように自由に使える空間を備えるなど、快適で滞在したくなる環境を整備します。

また、市民が日常的に訪れたいだけでなく、外部からも人を呼び込み、来訪者参加型のイベントなどを開催できる空間とすることで、持続的ににぎわい創出を図ります。

加えて、災害時には一時避難に活用できる広場とするなど、地域の防災施設として必要な機能を整備します。

## オ その他の公共施設（機能）

現在、ホール棟に整備されている会議室などの諸室については、利用状況や代替施設の有無等を踏まえ、機能の集約化や整備の規模を検討します。

また、市民ホールの優位性を最大限に発揮し、サンシティ全体の付加価値向上に資するよう、他の公共施設（機能）の統合、新たな施設の設置等についても、新たなサンシティの整備に合わせて検討を行います。

## ② 「民間施設」の方向性

民間施設については、民間事業者の提案により機能を決定しますが、公共施設（機能）の余剰地を活用して整備されることから、市民ホールのポテンシャルを最大限に引き出すなど、公共施設（機能）との相乗効果を期待するとともに、サンシティ全体の付加価値向上や地域ならではのにぎわい創出が図られるよう、提案にあたっての最適な条件を検討します。

### 【参考】 審議会等で示された民間施設の例

種別	施設の例
宿 泊	ホテル
商 業	飲食施設、物販施設
MICE*	大規模会議室
ビジネス	オフィス、サテライトオフィス
こども・子育て	若年層向け施設、職業体験施設、子育て関連施設
交 流	世代間交流施設
その他	産業振興や文化創造に寄与する施設、 地域の歴史や文化の学習に寄与する施設、駐車場

\*MICE…多くの集客交流が見込めるビジネスイベントなどの総称  
Meeting（企業等の会議）  
Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）  
Convention（国際機関・団体・学会等が行う国際会議）  
Exhibition/Event（展示会、見本市、イベント）

## 4 事業手法

本事業では、敷地全体を一体的に整備・運営することで、効率的に空間を活用し、施設の利便性や魅力の向上を図ります。このほか、公共施設と民間施設の複合化、南越谷駅・新越谷駅周辺エリアの地域資源との連携強化など、施設やエリアのさらなる魅力向上に向けて最適な事業手法を検討します。

事業条件の設定では、民間側に対する事業条件を厳しく設定すると、公共側の負担は軽減されますが、民間側の収益性が低下し参画意欲が減退します。一方、事業条件を緩和すると、民間側の収益性は向上しますが、公共側の負担が増加するという関係があります。事業条件を検討する段階から民間事業者の要望や意見等を取り入れるなど、民間側の参画意欲を高めつつ、市の負担を可能な限り軽減できるよう、柔軟な事業スキームについて検討します。あわせて、民間事業者の負担を軽減するための制度等の活用について検討します。

そして、施設の運営段階においては、市民が日常的に利用しやすい施設とすることを重視し、文化・芸術活動や地域イベントが継続できるよう、料金体系や利用環境の工夫を検討します。こうした市民利用への配慮を前提に、公共と民間が連携し、施設の魅力を最大化する運営体制を構築します。



## 審議会からの参考意見

### 1 施設整備について

- ・ 越谷サンシティの施設整備・機能について、MICE機能への対応など、中核市、また文化都市として相応しい拠点施設となるよう検討すること。
- ・ 図書室に関して、親子で読書や閲覧できるスペースを広く設けるなど、子育て世代にとって利用しやすい施設とするよう検討すること。
- ・ 新たな機能の導入に関して、市内外からの来訪者が地域の歴史や文化を学び、本市への理解を深められるよう博物館、郷土資料館等の設置について、デジタルミュージアムなど、そのあり方も含め検討すること。
- ・ 駐車場の整備に関して、利用者の需要や周辺交通環境への影響などを踏まえ、その必要性や面積、収容台数などについて検討すること。
- ・ 施設周辺の都市基盤整備に関して、周辺地域の利便性、回遊性、安全性の向上を図るため、新たな施設の整備と併せて検討すること。

### 2 施設運営について

- ・ 新たな施設においても市民が使いやすい施設とするため、現ホールを利用する団体及び個人等、地域人材との連携について検討すること。
- ・ 「人が集い、人から愛される施設」として来訪者相互の交流や親睦を図るため、来訪者参加型イベント等の企画を促す運営の仕組みについて検討すること。

以上



## 今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（素案）に対する 意見公募手続の概要及び実施結果

### ■概要

意見募集期間	令和8年(2026年)1月27日(火)～2月25日(水)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページへの情報掲載</li> <li>・広報こしがや2月号への記事掲載</li> <li>・越谷Cityメール、X、LINEでの周知</li> <li>・以下の施設に素案及び意見用紙を設置 南越谷にぎわい推進室、各地区センター・公民館、 行政資料コーナー、越谷コミュニティセンター</li> </ul>
受付方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請 ・電子メール ・郵送（当日消印有効）</li> <li>・各施設に設置した意見箱への投函 ・FAX</li> </ul>

### ■実施結果

#### (1) 意見提出者数 **44人**

電子申請	33人	電子メール	5人	意見箱	5人
FAX	1人	郵送	0人		

#### (2) 意見数と対応 **125件**

	意見 件数	対応の区分			
		A	B	C	D
1 はじめに・方針（素案）全般	9	0	2	1	6
2 新たな越谷サンシティのコンセプト	11	2	8	1	0
3 施設整備・機能	94	0	68	21	5
4 事業手法	2	0	2	0	0
その他のご意見	9	0	0	9	0
計	125	2	80	32	11

#### A：方針(素案)に反映するご意見

- ・審議会においても協議された内容であり、方針(素案)の内容を補完するご意見

#### B：今後の参考とするよう市に伝えるご意見

- ・方針(素案)に記載されている内容と重なるご意見
- ・施設の詳細に関するご意見 など

#### C：方針(素案)に反映しないご意見

- ・審議会で決議のうえ決定した内容と異なるご意見
- ・越谷サンシティ以外のエリアなど審議会の所掌外に関するご意見 など

#### D：方針(素案)への賛同や事業への期待といった感想など

※いただいたご意見は、審議会としての対応に関わらず、全て答申に添えて市に提出します。

—目次—

1	はじめに（方針（素案）全般に関する内容を含む）	…	1
2	新たな越谷サンシティのコンセプト	…	3
3	施設整備・機能〔前文〕	…	7
(1)	施設整備の基本的考え方	…	9
①	核となる機能		
②	市の財政負担の考え方	…	15
(2)	施設整備における留意点	…	17
(3)	「公共施設（機能）」と「民間施設」の方向性〔前文〕	…	19
①	公共施設（機能）の方向性	…	21
②	「民間施設」の方向性	…	27
4	事業手法	…	31
	その他のご意見	…	33
※	同一の方からいただいたご意見が複数の対象に関する内容を含む場合、ご意見の主旨を踏まえて、事務局において分割しております。		
※	明確に対象箇所が示されていないご意見については、事務局において方針（素案）の該当すると思われる項目に振り分けています。		

(参考)「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(素案)」の構成

1 はじめに

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 本事業を取り巻く環境の変化
- (3) 方針の位置づけ

2 新たな越谷サンシティのコンセプト

- (1) シビックプライドを醸成するシンボリックな空間
- (2) 人が集い、人から愛される施設
- (3) にぎわい創出と経済効果を実現する施設

3 施設整備・機能

- (1) 施設整備の基本的考え方
  - ① 核となる機能
  - ② 市の財政負担の考え方
- (2) 施設整備における留意点
  - ① 民間活力の活用
  - ② 災害対応機能の充実
  - ③ 気候変動への対応
  - ④ 新たな技術の導入・活用
- (3) 「公共施設(機能)」と「民間施設」の方向性
  - ① 「公共施設(機能)」の方向性
    - ア 市民ホール(大ホール、小ホール、イベントホール(旧展示ホール))
    - イ 図書室
    - ウ 出張所
    - エ 広場
    - オ その他の公共施設(機能)
  - ② 「民間施設」の方向性

4 事業手法

## 1 はじめに（方針（素案）全般に関する内容を含む） ご意見（No.1～No.9）に対する審議会の考え方

「1 はじめに」に関しては、主にこれまでの検討経緯に関するご意見、また、方針（素案）全般に関しては、事業への期待と併せて、施設更新の検討にとどまらず市全体における公共施設の役割分担のなかでの位置づけを明確にすべき、スピード感をもって事業を進めてほしいといったご意見をいただきました。

本審議会では、越谷サンシティのメイン機能やその規模、整備手法について、令和5年5月に市が公表したホールの大規模改修案も含めて検討した結果、幅広い市民活動や文化・芸術活動等の継続性や、にぎわい創出への寄与、長期的な視点で比較した将来の財政負担などを理由として、決議によって「ホールを2,000席規模で建て替える」とすることとしました。

今後、審議会から市に対して答申を行った後は、答申を踏まえ、市が「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針」の案を作り、市議会の議決を経て、策定されることとなっています。

なお、越谷サンシティの整備を契機として、市全体の将来像と公共施設のあり方について、市民と行政が共通理解を持ちながら持続可能な都市づくりを進めていくことやスピード感をもって事業を進める必要があることについては、重要な視点であることから市に今後の参考とするよう申し伝えます。

●ご意見一覧（1 はじめに（方針（素案）全般に関する内容を含む））

No.	意見（要旨）	区分
1	<p>サンシティの今後のあり方については、単なる施設更新の検討にとどまらず、市全体の都市拠点形成および公共施設の将来的な役割分担の中で位置づけを明確にすることが重要であると考えます。</p> <p>現在、市内では新たな集客施設整備の検討も進められており、都市機能の配置や公共投資の優先順位に対する市民の関心が高まっています。このような状況においては、個別施設ごとの整備検討に加え、市全体として文化・スポーツ・交流機能をどのように配置し、将来的にどのような都市構造を目指すのかを分かりやすく示すことが、市民理解の促進につながるものと考えます。</p> <p>サンシティについては、文化・芸術活動や市民利用を支える拠点としての役割を改めて整理するとともに、南越谷地域の魅力や回遊性の維持・向上にどのように寄与していくのかを明確にする視点が必要ではないでしょうか。</p> <p>また、大規模公共施設の整備・更新にあたっては、将来的な維持管理負担や施設機能の重複の可能性も含め、市全体の長期的な都市戦略との整合性を示しながら検討過程の透明性を確保することが重要であると考えます。</p> <p>サンシティ整備を契機として、越谷市全体の将来像と公共施設のあり方について、市民と行政が共通理解を持ちながら持続可能な都市づくりを進めていくことを期待します。</p>	B
2	早く実現出来るように「スピード感」が欲しいです。	B
3	<p>市自らが財政事情を踏まえて方向転換したにもかかわらず、附属機関の議論によって元の計画に戻っている点について触れておきたい。この問題は、本件に限らず、行政の意思決定過程における説明責任や統治の在り方に関わる課題を内包している。とりわけ、行政が自ら示した判断を後に変更する場合、その過程における透明性と判断の前提条件の共有は不可欠である。さらに言えば、行政の意思決定は、制度上は附属機関の意見を尊重しつつも、最終的には市が主体的に責任を負う構造となっている。したがって、附属機関の議論が市の先行判断を事実上覆す形となった今回の経緯は、行政判断の一貫性という観点からも検討を要する。これは単なる手続き論にとどまらず、行政がどのように市民の信頼を形成し、どのように公共性を担保していくのかという、より根源的な問いを含んでいる。ここで深く論じることは避けるが、敢えて指摘しておきたい。市民が将来にわたり安心して利用できる施設とするためにも、論理的整合性と説明責任を伴った計画の提示を期待する。</p>	C
4	越谷市事務局および審議会の委員の皆様には、長期間にわたり数多くの検討を重ねていただき心よりお礼申し上げます。これまでの議論の積み重ねや素案の方向性に賛同しております。	D
5	新越谷エリアは東武スカイツリーラインと JR 武蔵野線が交差し、越谷レイクタウンからも1駅ということで、越谷市の中で最も伸び代があるエリアだと思いますので、素晴らしい計画が実現されることを期待しています。	D
6	素案を熟読させて頂きました。大変良く纏めてあり、文章の表現も分かりやすく素晴らしいです。今までの意見集約、整理、文書化大変お疲れ様でした。私の意見は、基本的に素案通りです	D
7	期待しておりますので、素敵な施設作りをお願いいたします。よろしく願い致します。	D
8	全体的な素案に対しては理解しました	D
9	コンセプトや公共施設の方向性について概ね賛成致します。	D

凡例＝A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

## 2 新たな越谷サンシティのコンセプト ご意見（No.10～No.20）に対する審議会の考え方

新たな越谷サンシティのコンセプトに関して、現在の越谷サンシティとの関わりを通じた思い、これまでと変わらぬ文化を中心とした機能や市民による利用を期待するご意見、さらには、新たなランドマークとしての期待、多様な利用者へ配慮した空間づくりなどに関してご意見をいただきました。

審議会においても、越谷サンシティを単なる市の施設の一つにとどまらず、「あの建物が見えたら越谷に帰ってきた」と思えるような、市民が誇りに思い、愛着を持てる「シンボリックな空間」として位置づけることが重要であるといった意見、また、子どもから高齢者まで、様々な世代の人たちが毎日でも行きたいと思える施設を考える必要があるといった意見、さらには、市内外から人が集まりにぎわいを生み出すとともに、収益性、採算性も重要であるといった意見がありました。

こうした意見等を踏まえ、方針（素案）では、越谷サンシティ整備基本計画で示したコンセプトを継承しつつ、新たな越谷サンシティのコンセプトを3つに整理し、それぞれのコンセプトが繋がりをもち、相乗効果を発揮するものとししました。

なお、施設の再整備だけでなく、南越谷駅・新越谷駅周辺地域の住民・企業・商店会・行政等が連携して年間を通じたイベントを開催するなどのエリア全体の魅力を高める取組み、いわゆるエリアマネジメントの必要性に関するご意見については、にぎわいの創出と経済効果の実現に向け、施設整備において十分に留意すべき観点であると考えられるため、方針（素案）に反映します。

そのほか、にぎわいの定義や効果測定等については、今後、事業の具体化に向けて検討を進めるべき内容であるとして、市に今後の参考とするよう申し伝えます。

●ご意見一覧（2 新たな越谷サンシティのコンセプト）

(1) シビックプライドを醸成するシンボリックな空間

No.	意見（要旨）	区分
10	幼い頃、南越谷は週末をダイエーで家族で過ごす生活の拠点であり、オーケストラやアイドルのコンサートに触れたり、文化発表に出演するなど、文化の中心でした。『レンガ調のおしゃれな施設』にはとても愛着があります。 時が流れ、この先の未来も越谷で過ごす者として、より利用しやすいデザインと変わらない文化と生活の拠点であり続けて欲しいと心から願っています。	B
11	サンシティのシンボルとなる音楽、モニュメントや電車から見える壁面装飾を設置すること。	B
12	越谷市のランドマーク、コアとする。	B
13	コンセプトであるが、「シビック・プライド」という言葉が突然出て来た。住民の誇りや愛着を高め、地域の魅力を高めることで、住民自らが主体的にまちづくりを促進する概念という説明だが、取って付けた説明用語と感じざるを得ない。（できれば適当な日本語を使って欲しいと思います。）	C

(2) 人が集い、人から愛される施設

No.	意見（要旨）	区分
14	せっかくの市民の施設ですので、老若男女が集いたくなる施設を目指して頂きたいです。 子供の場合は、全天候型の遊べる憩える広場作りを目指して頂きたいです。 ご高齢の方々には、小遣い稼ぎができる内職仕事を市が斡旋し、そこで集まったみんなで、お茶しながら、お喋りしながら内職をこなすようにしたら、手先も使う、お喋りもできるので、頭にもいいし、認知症の予防になるかと思えます。	B
15	売却はせず、これまでどおり市民のイベントや発表会、コンサート会場として愛される施設を維持して、年配の方々と若い世代両方に刺さるリニューアルして欲しい。	B

(3) にぎわい創出と経済効果を実現する施設

No.	意見（要旨）	区分
16	《エリアマネジメントの必要性》 「賑わい」の根源は、「目的」であり、目的なく街に人が集まり賑わうことはない。街全体の賑わいを考えるとき、越谷サンシティだけが魅力溢れる施設となっても、周辺の施設に魅力が無ければ人々は目的地と駅を往復するだけになってしまうだろう。地域の活性化において重要な指標は来場者数や通行量ではなく、賑わいの先にある商売や経済であり、施設の再整備だけでなく住民・企業・行政が連携し、地権者の意向に偏りすぎず、エリア全体をマネジメントする取り組みの必要性を感じる。	A
17	南越谷の賑わい街づくりというけれども私企業が始めた夏限定の阿波踊りの街としか知られておらず長期的視点が欠けていると思います。真冬に南越谷の駅前の柱などにも阿波踊りのポスターがあります。 通年人が足を運べるような文化的な街として変えていくにはイベントづくりなど阿波踊りに頼らない方法を考えたほうが良いと思います。	A
18	「にぎわい創出」という概念の扱いについて、素案では繰り返し「にぎわい」が強調されているが、その定義や評価指標が明確ではない。来訪者数、経済効果、市民利用率、回遊性など複数の視点が考えられるが、どれを重視するのかが示されていない。概念が曖昧なままでは、施策の効果検証が困難となる。この点は、私がこれまで傍聴してきた議会でもたびたび指摘されてきたところである。政策効果を検証可能とするためにも、評価指標の明確化が不可欠である。	B

凡例＝A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

No.	意見（要旨）	区分
19	<p>サンシティ周辺では、長期間にわたり空きテナントが発生している状況が見受けられます。これは単なる景気要因だけでなく、当該エリアの将来像や機能戦略が十分に明示されていないことも一因ではないかと考えます。</p> <p>南越谷は交通結節点という強みを持つ一方で、「教育拠点」「宿泊機能」「医療ウェルネス機能」「文化集積」など、どの方向性で育てていくのかが明確ではありません。民間任せでは需要が生まれにくい局面においては、市が都市機能の方向性を明示することが投資誘導の前提条件になると考えます。サンシティ再整備は単なる施設更新ではなく、南越谷エリアの役割を定義する重要な機会です。都市機能の分担と長期的なビジョンを明示していただきたいと思います。</p> <p>また、近年、越谷駅前では再開発が進み、住宅商業機能の更新が一定程度実現しています。その上で、南越谷エリアにどのような役割を持たせるのかは、都市全体の機能分担の観点から慎重に整理されるべきと考えます。既に更新が進んだエリアとの機能重複や、投資分散による影響についても、明確な説明が必要ではないでしょうか。</p> <p>本件は単年度の判断ではなく、今後 20 年、30 年の都市構造を規定する決定になると考えます。将来世代に対して説明可能な設計であることを強く求めます。</p>	B
20	<p>現在の駅周辺のにぎわいの現状のイメージは飲み屋街であって、そこから「理想とする形」にどう変化させ得ると考えているのか？ ここも民間活力に期待か？</p>	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他



### 3 施設整備・機能〔前文〕 ご意見（No.21～No.25）に対する審議会の考え方

施設整備・機能〔前文〕に関して、新たな越谷サンシティにおける敷地全体における施設の配置や建物内の構成、建物の高さ等に関するご意見をいただきました。

本方針では、越谷サンシティの核となる機能を「ホールを2,000席規模で建て替える」ことのほか、「公共施設（機能）」や「民間施設」の方向性などについて示しておりますが、施設の詳細、配置等については、今後、市が事業者公募に向けた手続きを進める中で「実施方針」や「要求水準書」において定めていくこととなります。

その際には、施設全体のスケール感や空間構成、周辺環境との調和等を意識した設計とするよう、いただいたご意見を市に今後の参考とするよう申し伝えます。

●ご意見一覧（3 施設整備・機能〔前文〕）

No.	意見（要旨）	区分
21	素案の公共施設の規模、機能に関して、現時点では階数、高さについて言及がありません。現状と同等規模を想定しているのか、関係法規でどの程度の高さまでを想定しているのかなど、具体的な想定条件を示すことで想像がしやすくなりますので、委員の皆様でご検討ください。	B
22	横に広く天井も高めに、開放感があるスペースにして欲しいです。何しろ来てもらいたいと思うなら、自分も通いたくなるくらい、利用者が憩える施設を目指して欲しいです。	B
23	建て直しをするなら図書館と出張所を同じ建物にしてほしい。買い物エリアにレストランを入れてほしい。3棟での構成を望みます。	B
24	将来のメンテナンスを考えた形を希望。	B
25	持続可能な施設とするには、どうすればそうなるか？ 建物を建てること「ありき」となっていないか？言葉はきついが、「土建屋的発想」を感じます。SDG's 的考えだろうか？	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

## (1) 施設整備の基本的考え方

### ① 核となる機能

#### ご意見（No.26～No.50）に対する審議会の考え方

核となる機能について、現在の施設と同様に市民の文化・芸術活動の利用や様々なイベントを鑑賞できるホールを希望するご意見やライブ・コンサート、スポーツイベント、さらには越谷アルファーズの本拠地としてのアリーナに関するご意見のほか、2,000席としているホールの規模に関するご意見などをいただきました。

審議会では、新たな越谷サンシティの核となる機能の候補について、1,675席の現状のホールを大規模改修する案、同規模で建て替える案、現状の規模を拡大して2,000席のホールに建て替える案、さらには、5,000席または10,000席のアリーナを新築する、という5つの案が委員の中から挙げられました。

これら5つの案を比較、検討するにあたっては、委員から意見を出し合い、その評価軸として“にぎわい創出への寄与”、“市民（利用者）への影響”、“市の財政への影響”、“周辺環境への影響”の4項目について、これに関連する12の視点を設定したうえで、それぞれの案と同規模の他市施設の実績などを参照しながら、5案に関する審議を行いました。

メイン機能に関する審議では、主ににぎわいの創出やそれに伴う経済効果の観点からアリーナを支持する意見があった一方、現在のホールの稼働率が非常に高いこと、これまでの市民の文化・芸術活動はアリーナでは代替できないこと、併設できる機能が豊富であり、各機能間の相乗効果も期待できることなどから、ホールの意見が多数となりました。

また、ホールの規模及び整備手法については、過去に行われたホールを利用する市民団体等への規模に関するアンケート結果なども参考とし、会議では、市の財政負担や他の公共施設整備に与える影響、今後見込まれる人口減少や環境変化のリスクなどの理由から、大規模改修を支持する意見があった一方、規模拡大による集客力の向上、建て替えによる施設の利便性の向上、敷地全体で多様な機能を追加・配置できる柔軟性などが、にぎわいの創出につながる点、さらには大規模改修に関する技術的検討が不十分であり、費用増大の懸念がある点などから、建て替えの意見が多数となりました。

●ご意見一覧 (① 核となる機能)

No.	意見 (要旨)	区分
26	2,000 席規模の大ホール建て替えという判断について私は建て替えそのものを否定する立場ではない。しかし、これまでの経緯を踏まえると、今回の素案には論理的整合性に疑問が残る。市は令和 5 年、財政負担や社会経済情勢を総合的に勘案し、ホール棟について「建て替えではなく大規模改修(リノベーション)」とする見直し案を公表した。この判断は、当時の状況を踏まえれば合理的であったと理解している。にもかかわらず、今回の素案では再び「建て替え」に戻っている。その理由や前提条件の変化が、素案中で十分に説明されているとは言い難い。政策判断の妥当性を担保するためにも、判断の前提条件と根拠の提示は不可欠である。	B
27	公共施設の方向性として、「2,000 人程度の大ホール」「現状と同程度の小ホール (490 席)」「現状と同程度のイベントホール (394.8 m <sup>2</sup> )」が示されているが、議事録を見てもその規模適正について議論した記録はない。 「どうせ建て替えるなら少し大きいほうがいい」「金額が大して変わらないなら大きいほうがいい」という安易な議論であったように見受けられる。 2,000 人のホールに興行の需要があることは理解しているが、それは「営利イベント」の話。そもそも「音楽ホール (劇場)」の必要性は市民利用だったはずではないか？ 市民利用に適した規模の検証は行ったのか？ 個人的にも所属団体等でサンシティを利用する事があるが、1,000 人埋めるだけでも難しい。「市民利用」の適正規模を再検討するべきと考える。	B
28	ホール機能の検討にあたっては、単に「多目的利用が可能かどうか」ではなく、舞台芸術に対応しうる建築や設備要件が確保されているかという観点が必要不可欠であると考えます。具体的には、演劇、クラシック音楽、舞踊等を想定した場合、以下のような機能が求められます。 ・十分な舞台奥行きおよびプロセニウム形式の確保 ・常設の照明バトンおよび美術バトンの本数と配置計画 ・フライタワーの高さおよび安全荷重 ・音響反射板を前提とした残響時間設計 ・客席勾配および視認性を考慮した固定席構造 一方、スポーツ利用を主目的とするアリーナ型施設では、フラット床や可動席を前提とする設計となるため、天井吊荷重やバトン配置、音響設計において舞台芸術用途との両立に構造的制約が生じる場合があります。仮設対応では代替しきれない部分も少なくありません。 中央市民会館の小ホールのみでは、本市における文化活動の受け皿としては十分とは言いがたく、文化芸術の継続的発展という観点からも、本格的ホール機能の確保は都市機能として重要であると考えます。 文化の拠点サンシティ、スポーツの拠点をレイクタウン周辺へと整理することは、用途特性に基づく合理的な都市機能分担であり、長期的な運営効率および施設稼働率の観点からも検討に値する方向性ではないでしょうか。	B
29	今後もステージの場として綺麗に整備して残していただきたいです。 子供や自分も含め発表会の場として使用させていただきましたので、継続してほしいです。	B
30	親がサンシティでの演奏会鑑賞や映画鑑賞を頻繁に利用しており、私もよく利用して楽しんでいる。 コンサートや演劇などに利用できるサンシティが無くなると市民のための文化的施設がなくなってしまうのでこれは越谷市に税金を納める住民として非常に許しがたく絶対に維持して貰いたい。 よってサンシティの建て替えを希望致します。	B

凡例 = A:方針(素案)に反映します B: 今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

No.	意見（要旨）	区分
31	<p>2,000 席規模のホールに建て替えることにより、越谷市の夢と希望は無限大になったと思います。</p> <p>越谷に生まれ、育ち、子育てをしている私からすれば大歓迎のプロジェクトです。ぜひともスピーディに実現させてください。</p>	B
32	<p>越谷市における新アリーナ整備計画についての意見（パブリックコメント）</p> <p>私は、越谷市に本拠を置く B1 バスケットボールチームである**越谷アルファーズ**の存在や、スポーツを核とした地域活性化そのものには大きな意義があると考えています。一方で、現在検討されている「越谷レイクタウン地区への新アリーナ整備」については、都市構造・交通事情・生活環境の観点から、再検討が必要であると強く感じています。</p> <p>まず、越谷レイクタウン地区は、言うまでもなく日本有数の大規模商業施設であるイオンレイクタウンを中心としたエリアであり、特に週末や大型連休時には慢性的な交通渋滞が発生しています。周辺道路はすでに限界に近い交通量を抱えており、そこに数千人規模の集客を前提とするアリーナイベントが定期的開催されるとなれば、交通混雑はさらに深刻化することが容易に想像できます。</p> <p>また、最寄り路線である JR 武蔵野線は、利用者であれば誰もが実感している通り、遅延や運休が非常に多い路線です。強風や人身事故、貨物列車の影響などによりダイヤが乱れることも少なくなく、大規模イベント輸送を安定的に担える交通インフラとは言い難い状況です。こうした不安定な鉄道事情のもとで、アリーナ運営を前提とした街づくりを進めることには、大きなリスクがあると考えます。</p> <p>さらに、越谷レイクタウンは本来、マンションを中心としたベッドタウンとして発展してきた地域です。飲食店や居酒屋、宿泊施設は限定的で、夜間のにぎわいや観戦後の滞留・回遊を受け止める都市機能は十分とは言えません。現在の落ち着いた住環境は、子育て世代やファミリー層にとって大きな魅力であり、その「ほんわかした街の性格」と、頻繁な大規模イベントを伴うアリーナ機能とは、必ずしも親和性が高いとは思えません。</p> <p>一方で、南越谷駅周辺は、東武スカイツリーラインと JR 武蔵野線が交差する市内有数の交通結節点であり、越谷市最大の繁華街でもあります。駅周辺には飲食店、居酒屋、レストラン、ホテルが充実しており、イベント来場者の受け皿として極めて高いポテンシャルを有しています。駅ビルも比較的新しく、商業的な回遊性も確保されています。</p> <p>また、南越谷にはすでに「サンシティ」という大規模ホールが存在し、今後改修予定があることも承知しています。新たに多額の公費を投じて一からアリーナを建設するよりも、既存資産を活かし、サンシティを段階的に改修・アリーナ機能へ転用の方が、財政面・環境面・市民理解の面においても合理的ではないでしょうか。都市の集積が進んだエリアに機能を集約することは、持続可能な都市経営の観点からも望ましい選択だと考えます。</p> <p>スポーツ振興と地域活性化は、生活環境との調和があってこそ成功します。越谷レイクタウンの静かな住環境を守りつつ、すでに都市機能が整っている南越谷エリアを最大限活用することこそが、越谷市全体の利益につながるのではないのでしょうか。</p> <p>以上の理由から、アリーナ整備の立地については、越谷レイクタウンありきではなく、南越谷・サンシティ改修案を含めた現実的かつ多角的な再検討を強く要望いたします。</p>	C
33	<p>東武鉄道やポラスなど企業に協力してもらい B リーグはもちろん、イベントなどにも対応可能な複合型アリーナの建設</p> <p>高層化して、上層部は居住型住居にするのもありだと助かります</p>	C

凡例＝A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

No.	意見（要旨）	区分
34	越谷市の人口は今後減少していく中で、高齢者が多く、少子化が進んでいるようです。ベッドタウンとして急激に人口は増加しましたが、現状は農地の問題もあり、中々、町の発展がない。しかし、今、この越谷市に素晴らしいバスケットチームが誕生し、がんばっているのだから、市全体で支援し、集客できるものにして行くには、駅近く、交通の便の良い所に作るのが最も適していると思う。文化施設も大事だが、今後越谷市全体の発展を考えるのであればスポーツイベントが出きる会場にすべきである。世間等の例をみても成功している。又、スポーツに限らず多種多様なイベントが可能になる会場とすべきである。	C
35	サンシティは都内からの集客も見込める多目的ホールが希望です。 3,000 から 5,000 人収容できるようなホールが欲しいです。 大きなライブ・コンサートやスポーツイベントや色々なイベントが開催できるものが希望です。 是非、尽力宜しくお願いします。	C
36	越谷アルファーズの新本拠地（5,000 人以上収容）誘致。V. League などプロ・スポーツの新チームの誘致（Polus 社辺りにスポンサーになって頂く）	C
37	越谷アルファーズの本拠地とするアリーナ機能も、多層階構造であれば十分なキャパシティを確保でき、テナントへの魅力向上にも繋がる。	C
38	越谷アルファーズの体育館	C
39	大型アリーナ	C
40	ホールの収容人数を大きくすると偉い！ような「おらが町に 2,000 人規模のホールを！」って特徴もないホールを誰が借りてくれますか？ 2,000 人と言えば LINECUBE 渋谷よりも大きく集客性のあるアーティストが借りてくれる保証はあるのでしょうか？イベントーさんに意見を募りましたか？ 音響設計に力を入れるような特徴のある改修をする方が集客力は増すと考えます。	C
41	サンシティの再整備において、「公園を拠点とした空間づくり」を全体の核とすることを提案します。巨大なホール主体の設計ではなく、市民が日常的に集える公園（広場）を主役に据え、そこにスーパーマーケット、カフェ、小規模なホールを配置する形を希望します。	C
42	リフォームより建て替えのほうが事業規模が大きくなります。 それによって利益を得そうな企業関連の方たちがメンバーが大半を占める審議には客観的な視点が欠けていると思います。	C
43	「越谷サンシティのあり方に関する審議会」は市議会において「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の決定の件」の請願が可決された事を根拠としている。 本請願では「計画変更の是非やその他の手法の選択肢も含めて」意見を聴取する事が求められている。それは単に「建て替えか？改修か？」「ホールか？アリーナか？」という議論ではなく、市として、ホールやアリーナを「どこに」配置すべきか？という視点も含んでいると解する。 ホール、アリーナについての計画が白紙となっている事がそもそもの前提条件であり、すでに「レイクタウンでのアリーナを前向きに検討する」と発表された後での審議会は前提が破綻しており、請願者の意図とは大きく異なる。 仮にレイクタウンのアリーナの計画が進まなかった場合には本審議会の前提が覆り、当然の事ながら、素案や議会の議決にも影響を与えるのでは？	C

凡例＝ A:方針(素案)に反映します B: 今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

No.	意見 (要旨)	区分
44	<p>素案の作成にあたり、「ホールか？アリーナか？」「建て替えか？改修か？」といった議論があったと聞く。結果は「ホール：15人、アリーナ：5人」、「建て替え：14人、改修：6人」であり、それぞれ決議要件の2/3を超え、「ホールの建て替え」に決まった。</p> <p>しかしながら、聞き方を変えれば、「アリーナによる建て替え：5人、ホールの改修：6人、ホールの建て替え：9人」という結果になり、いずれも2/3どころか過半数も満たさない。</p> <p>これは、運営側が誘導した結果とも言えるのではないか？</p> <p>しかも、「ホールの建て替え」に手を挙げた方々からはアリーナに批判的な意見はなかったと聞く。「レイクタウンのアリーナ」の前提条件の違いや「ホールとアリーナの併設」という考え方があれば、結果は全く違ったものになるのではないか？</p>	C
45	<p>「ホールか？アリーナか？」の議論があった事は承知しているが、約1.9haという敷地面積を考えれば、5,000人のアリーナと1,000人規模の音楽ホールは十分併設可能である。</p> <p>それぞれ熱望する委員や市民がいる中で「ホール、アリーナの併存」という案は検討しなかったのか？していないのであれば、それは審議会として瑕疵があるのではないか？</p> <p>ホールとアリーナは用途が重複する部分と異なる部分がある。スポーツやアーティストを呼んでの興行はアリーナで、市民利用やクラシックコンサートに関してはホールで、と棲み分ける事で、それぞれの価値を活かす事が出来るのではないか？</p>	C
46	<p>アリーナ整備案の合理性検証について サンシティへのアリーナ要望も一部根強くあると感じています。もしまた再燃した時の場合のための意見となります。以下の観点からの検証が不可欠と考えます。</p> <p>1、立地適合性 住宅地近接環境における広域集客施設としての持続可能性（交通容量、騒音、帰宅動線、安全対策等）について、客観的データに基づく検証を求めます。</p> <p>2、財政的妥当性 建設費のみならず、維持管理費、改修費、将来更新費を含む長期収支計画の提示を求めます。加えて、同規模投資を教育、医療、既存インフラ更新等に充てた場合との機会費用比較も不可欠と考えます。</p> <p>3、都市戦略との整合性 南越谷エリアの機能戦略と、広域スポーツ施設の配置が整合するののかについて、都市戦略上の位置づけを明確に示すべきと考えます。</p> <p>アリーナの是非を期待や感情で論じるのではなく、立地、財政、都市機能の三点から合理性が示されるべきです。</p> <p>南越谷の再整備は越谷市の都市戦略そのものです。検証可能な根拠に基づき、将来世代に対して説明可能な設計であることを前提に議論を進めていただきたいと思います。</p>	C
47	建て替え案に賛同致します。	D
48	アリーナ案が出てきた経緯が良くわかりませんが、大規模改修ではなく、建て替えという方針には大賛成です。改修では、中途半端な施設になると感じていました。	D
49	大ホール2,000席拡大とデジタル化、その他設備案に大賛成です。	D
50	<p>目先だけの改修か将来を見据えた建て替えか注目していました。素案に書かれている2,000席規模のホールに建て替えることについて大賛成です。</p> <p>それくらいのインパクトがなければ新たなにぎわいの創出、地域経済の活性化はできないと思います。このタイミングで大きな投資に踏み切った市長のご英断に心から敬意を表します。</p>	D

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他



## ② 市の財政負担の考え方

### ご意見（No.51～No.61）に対する審議会の考え方

市の財政負担の考え方について、長期的な市の財政や他の公共施設整備への影響、財政的な視点からホールの建て替えに反対するご意見などをいただきました。

審議会において、越谷サンシティの核となる機能について審議を行う中で、財政負担に関しては、市から市立病院をはじめ今後10年間で見込まれる大規模事業についての説明を受けたのち、ホールを大規模改修した場合と建て替えた場合の費用や財源、実質的な財政負担のほか、民設民営のアリーナとした場合の市の費用負担などを比較、検討いたしました。

会議では、市の財政負担について、さまざまな角度から意見が交わされ、整備にあたっては、国の補助金や、地方債、地方交付税などの地方財政措置等による財政負担の縮減、さらには、県の補助金の活用やネーミングライツ（命名権）設定等の民間との連携による財源確保や、財政負担の平準化などに努める必要性について方針（素案）に記載することとしました。

事業の実現にあたっては、財政負担の縮減に努めること、さらには、長期的な財源の見通しや市立病院をはじめとする他の公共施設の更新等への影響などについて検討することなど、いただいたご意見を今後の参考とするよう市に申し伝えます。

●ご意見一覧 (② 市の財政負担の考え方)

No.	意見 (要旨)	区分
51	<p>この素案の内容は、ほぼ福田市長が改修案を発表する前の「越谷サンシティ整備基本計画」そのものである。</p> <p>つまり 1 年かけて審議会をやったものの、結果的に 3 年前に逆戻りした形である。そもそも「越谷サンシティ整備基本計画」が財政負担により難しくなり、市長が改修案の発表に踏み切ったのだから、今回の素案はそれに矛盾する事となる。</p> <p>市の負担額の総額は約 350 億円。長期的な財源の見通しはあるのか？</p> <p>ないのであれば、市の将来的な財政を圧迫し、市立病院の建て替えなどにも影響を与える極めて無責任な計画であると言わざるを得ない。</p> <p>財政的根拠の明示と市のその他の施設の建て替えへの影響をお示し願いたい。</p>	B
52	<p>再開発の必要性があるという考え方には最初から同感しています。環境の変化に基づいて計画を変化させるのも了解する。将来、市の人口が 26 万人に迄減少する見通しであり、他の市施設、特に病院施設が充実することが望まれている、つまり今後も財政問題がタイトと予測されることが大きな問題である。</p>	B
53	<p>財政負担に関する説明の不足について、素案では、補助金や地方債、ネーミングライツ等の活用により財政負担の縮減に努めると記載されている。しかし、建て替えとりノベーションの費用差、将来の維持管理費、市全体の公共施設更新との関係など、判断に不可欠な情報が示されていない。人口減少と高齢化が進む中で、将来世代への負担をどのように抑制するのかという視点は欠かせない。財政運営の持続可能性を確保するためにも、長期的な財政影響の明示が求められる。</p>	B
54	<p>結論として、計画については（建て替えではなく新設）賛成するものですが、市の財政負担が決して膨らまない様な、（各種契約上の）縛り的な条件を付帯していただき度いと考えます。市民税が上がるのは困ります。</p>	B
55	<p>市民の税負担を増やさない街づくりを進めて頂きたいです。</p>	B
56	<p>市は財政が厳しいと聞いているので建築費の圧縮をして頂きたいです。</p>	B
57	<p>今後、サンシティの再開発は、同じようなホール併設の中野サンプラザや習志野文化ホールの再開発が頓挫したように、早急な開発は無謀と考えます。既存の越谷サンシティは、当面は使用できると感じるの、建て替えを前提とした、最低限の改修で、10 年程度は持たせて、時間をかけ、財政負担の少ない（国・県の補助金利用・市街地再開発事業など）、民間共同開発（タワーマンションなど）方法を選定して、市民が誇れる立派な施設を、時間をかけて造ってほしいと思います。ただ、箱ものを造れば集客できるという考えは危険だと思います。</p>	C
58	<p>越谷市の財政負担を少なくするため、南側のイオン駐車場の土地などを含めた「市街化再開発事業」で、県・国等の補助金を積極的に活用すべきと思います。そのためには、都市整備部などの全庁的協力体制で実行していただきたいです。東京都足立区などでは、駅周辺開発（竹ノ塚駅など）に合わせ、容積率を増加する都市計画変更もしているの、そのような方法による更なる土地の高度利用もご検討いただければと思います。</p>	C
59	<p>あと 30 年は使えるホールを壊してまで作って採算が取れるか疑問です。まだ使えるものを壊して現在運営費に苦勞している国立競技場建て替えをしようと閉鎖したが建設費高騰のあおりを受け新設も遅れている、国立劇場、中野サンプラザ等二の舞になりませんか？</p>	C
60	<p>財政負担のうち、ネーミング・ライツが挙げられているが、現相場に鑑みいくぐらいか？「民間活力の活用」は、官の常套句である。民間は儲からなければ簡単に引くことを考えれば、その場合の市当局の負担・責任はどうなるのか？</p>	C
61	<p>資金面は、素案通り、各補助金の活用と命名権等最大に活用する事に大賛成です。</p>	D

凡例＝ A:方針(素案)に反映します B: 今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

## (2) 施設整備における留意点 ご意見（No.62～No.69）に対する審議会の考え方

施設整備における留意点について、魅力的な興行の誘致や多様なイベントの開催、運営に係る費用縮減の観点から、施設の運営に民間活力を活用するご意見などのほか、災害対応機能の充実や新たな技術の導入・活用についてのご意見をいただきました。

新たな越谷サンシティは、コンセプトにあるように、市民の文化・芸術活動の発表の場としての「する」といった“市民利用”だけでなく、様々なイベントの鑑賞機会等を提供する「見る」といった利用により、市内外から多くの人が集う空間が求められています。

そのため、民間事業者の企画力や運営力を活用し、利用者の需要に応える幅広い鑑賞内容の提供や施設の維持管理費用の縮減を目指す必要があると考えています。

また、災害対応機能のさらなる充実や大型ビジョン、デジタルミュージアムの設置に関するご提案、そして、気候変動対応や新たな技術の導入に関する具体的な検討の必要性については、審議会でも意見のあった内容であることから市に今後の参考とするよう申し伝えます。

●ご意見一覧 (2) 施設整備における留意点

No.	意見 (要旨)	区分
62	災害対応機能、気候変動対応、AI や IOT の検討などについて、この種のプロジェクトにありがちの考え方であるが、もっと具体的なものが必要ではないか？ 予算化するに当たって、更に詳しく説明される必要があると思います (特に AI や IOT)。	B
63	当面、人口減、税収減が避けられない中、新たな投資をするので有れば今で有り、市民、投資家、民間会社、国等の支援、投資を受け入れ、大胆なりノベーションをするべき。運営を民間の会社に委ね、営利組織とする。	B
64	1. もっとアニメやサブカルチャー、インフルエンサーとタイアップしたイベントを開いてほしい。 2. 昔みたいに月に 2-3 度や子供たちの長期休暇に合わせて昔の映画を上映したらどうか？ (漫画ミュージアムの代理案？) 1. あまりそういうことを言いたくないが、サンシティは中高年に興味があるアーティストばかりな気がする。もう私も 30 代後半になるが…それでも知らない方ばかりです。よい意味でも悪い意味でもコアすぎる。(よくてオレンジレンジのライブ…くらいしか) 別に自分が認知が少ないだけかもだけど…たとえば、地域の宣伝に力を入れてるジョーブログさん、春日部つくしさんなどに助言いただくのは？個人的には…京都アニメーションとの繋がりがみたいのは大にしてほしい。 2. プロジェクターうまく使って、コアな映画やアニメを大画面で唯一見れる場所みたいのをつかってほしい。できれば越谷特有の漫画家や演出家、芸能人にアンバサダーに入ってもらって。できれば…ただ映画を観るのではなくその映画やアニメの歴史や当時のことをアンバサダーの方から話を聞いたあとに映画などを観る的な…	B
65	子供の頃から越谷に住んでいます。 蒲生学園ができ、ヤオコーができ、蒲生周辺は賑わってくるのではないかと思いますし、他の市に比べ成人式は各中学で行われてる現状。サンシティのような大きい会場で開催されたほうが華やかなのになと思ってます。	B
66	本格的なクラシック音楽の演奏、聴取が可能なホールの建設。越谷市民交響楽団のプロ化、定期公演の実施。一流指揮者の招聘。テレビ埼玉、BS 等による放送 (毎月)。演劇、ミュージカル (劇団四季、東宝、シルクドソレイユ等) の公演の実施。	B
67	サンシティ規模の開発であれば民間事業者のノウハウを大いに活用しなければならんと思います。設計、建設の段階でもそうですが、素案には記載がないように思えますが、運営の段階ではなおさらノウハウを活かしていただきたいと思います。 現在のホールは 4 億~5 億円の支出があると伺っていますが、支出を極力縮められる方策を民間事業者とアイデアを出し合ってほしいです。	B
68	【災害対応機能の充実】 災害対策対応の機能の充実として、今まで越谷市域で起きた自然災害の紹介コーナーが最低限必要。地域安全を守る防災施設として、特にどこに避難所があるのか。備蓄物資の保管状況や残存状況が一目でみられる電子パネルの設置、備蓄品の倉庫や避難所受入のエントランスをセットして設置する。	B
69	【新たな技術の導入・活用】 平常時に越谷市のよき歴史や文化、産業、祭などを紹介する大型ビジョンデジタルミュージアムを設置する。災害時には、防災情報の伝達や紹介する。	B

凡例 = A:方針(素案)に反映します B: 今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

(3) 「公共施設（機能）」や「民間施設」の方向性〔前文〕  
ご意見（No.70～No.78）に対する審議会の考え方

「公共施設（機能）」や「民間施設」の方向性前文について、駐車場の広さや高さなどの課題に関するご意見や駅から施設へのアクセスに関するご意見をいただきました。

駐車場について、審議会では、利用者の利便性向上の観点から、来訪者の増加につながるという意見がある一方、交通渋滞の懸念、整備費の削減、駅からサンシティまで周辺商店を歩きながら来訪していただくことによるエリアへの経済波及効果の観点から必要最低限とすることが望ましいといった意見もありました。

また、ペDESTリアンデッキの設置や駅と施設を通路で直結させるなどの駅から施設へのアクセスについても、来訪者の利便性、滞在性の向上に寄与することから、敷地外における動線計画は大変重要であると認識しています。

こうした駐車場や敷地外の動線などに関するご意見は、市民等が快適に来訪できる施設を実現するため、市に今後の参考とするよう申し伝えます。

●ご意見一覧 (3) 「公共施設 (機能)」や「民間施設」の方向性」〔前文〕

No.	意見 (要旨)	区分
70	東武スカイツリーラインの新越谷駅と武蔵野線の南越谷駅という2路線乗り入れ駅という利点を最大限活かし、従来の「自家用車移動・駐車場ありき」の施設ではなく、電車やシャトルバスといった公共交通機関を軸とした移動をメインとすることで、付近の渋滞解消・周辺店舗への誘導 (による賑わい創出) に寄与する。	B
71	現状の狭く使いづらい駐車場ではなく、イオンレイクタウンのような1台1台のスペースが広く止めやすい、地下2階3階も利用できる駐車台数の多い駐車場にしてほしいです。また、民間施設とも連携した、一体的な立派な建物を、時間をかけて造ってほしいです。	B
72	駐車場も今のサンシティの地下は高さ制限が2.1mであり入れない車もあるので、検討していただくと嬉しいです。	B
73	サンシティに徒歩圏外から多く人を呼ぶ施設にすることを想定していて、駐車場も増やし辛いので、アクセスルートは駅からを主に想定していると思われます。しかしながら素案にはアクセスルートに関する言及がありませんでした。現状でも、アクセスルートが確立しておらず、なにかのイベント時には町中に人が溢れ危険ですし、「ココを外から来た人たちに見せるの?」と考えると恥ずかしいとも思えます。サンシティ本体の規模を大きくすることだけ考えると、外からは1度行ったら行きたくなくなる場所、近隣からは迷惑な施設と成りかねません。規模を縮小してでも駅との接合を優先したほうが愛される施設になるのではないのでしょうか?	B
74	東武鉄道とも組んで新越谷駅直結にすることができれば人の動線も確保でき、相乗効果生まれるのではないのでしょうか。	B
75	新越谷ビル、バリエから空中廊下やペDESTリアンデッキを設置し、人の流れを作りだす。空中廊下の壁面に越谷百景を展示する、催し物のない日は、フリーマーケットを開催し、賑わいを醸成すると良い。建て替えを機に、周辺道路を拡張すると良い。	B
76	施設と新越谷駅、南越谷駅とを連結、直結。天候に関わらず、アクセスし易い様にする。	B
77	《公共施設と民間収益施設のバランス》 1983年の市の「文化都市宣言」にもあるように、教育・芸術・福祉など多方面にわたる「文化的な暮らし」を象徴する施設とするために、民間収益施設の有用性 (持続的に目的化できる商業施設が存在することで賑わいとなる) を加味しながらも、持続的に人が訪れ、交流し、経済やコミュニティが活性化するような公共・公益施設を主とすべきであると考えます。	B
78	素案ではサンシティを中核とし、南越谷ににぎわいをどのように創出するかを記載されております。南越谷でにぎわいを創出し、しかも費用対効果が大きく負にならない具体的な案を考えながら拝見させて頂きました。私の意見としては、隣駅に越谷レイクタウンがあるため、リスクが高い投資になるため、素案は変更した方が良いと思いました。市の他の施設、特に市立病院については優先順位がサンシティよりも高い案件と思います。また、越谷サンシティのホール棟は大規模な改修は行う必要がないと思います。そこで、 ・越谷サンシティのホール棟は改修も建て替えも行わず、現状のまま。 ・隣接する宴会場、会議室がある棟のみ改修し、図書館等の公共施設として活用が出来るようにする。 ・商業施設は民間で活用し、市は土地の賃料収入を得るようにする。 以上のように、越谷サンシティ関連については市の出費を最小限にして頂きたいと思います。	C

凡例＝A:方針(素案)に反映します B:今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

① 「公共施設（機能）の方向性」  
ご意見（No.79～No.99）】に対する審議会の考え方

「ア 市民ホール」について、大ホールと小ホールの差別化、リハーサル室や音楽室の単独利用、ユニバーサルデザイン、施設整備時の代替施設などに関するご意見をいただきました。

市民ホール（大ホール、小ホール、イベントホール（旧展示ホール））の規模については、方針（素案）に記載しておりますが、そのほか、審議会では、舞台、客席、楽屋などの仕様や市民利用への配慮などに関する意見がありました。

「イ 図書室」については、気軽に利用できる居心地の良さを求める意見、子どもの第三の居場所や地域の課題解決の総合窓口としての役割を求めるご意見をいただきました。

審議会では、子どもや親子連れのためのスペース、本館以上のイベントの開催、カフェなどの併設などにより魅力的な図書室とするべきといった意見がありました。

「エ 広場」については、まち全体の魅力や回遊性の向上などにぎわいの創出に寄与するといったご意見や具体的なイベントの提案、そして、ドッグランを設置することで施設の魅力の向上に加え、災害時にはペットと一緒に避難が可能となるといった防災機能の強化に関するご意見をいただきました。

審議会においても、商業エリアへの回遊や誘客、市民の暮らしを豊かにするといったことから広場が重要であるといったご意見がありました。一方で、その規模や配置、使われ方については、施設全体の中で検討すべきという意見もありました。

「オ その他公共施設（機能）」については、越谷市の歴史と文化を後世に伝える博物館、資料館に関するご意見をいただきました。

審議会においても、ホール機能の高付加価値化といった観点から防災機能を備えた博物館やデジタルミュージアムなどの機能に関する意見がありました。

このように、「公共施設（機能）」に関して、審議会でも様々な意見がありましたが、いただいたご意見にありますような個別具体的な提案内容や審議会では検討の対象としなかった詳細な事項につきましては、方針策定後、市民や利用団体等の意見を踏まえ検討するよう市に申し伝えます。

●ご意見一覧（① 公共施設（機能）の方向性）

ア 市民ホール（大ホール、小ホール、イベントホール（旧展示ホール））

No.	意見（要旨）	区分
79	建て替え中に市民団体などが定期的で開催している催しを行う代替のホールはどうするのでしょうか？	B
80	敷地の東側のメインはやはりホールとし、隣接するさいたま市でも2,000席規模の大ホールは1か所しかないようですので、2,000席規模の大ホールであれば需要が十分見込めると思います。あと、中ホールは個性を重視したホール（例えば、クラシック専用とか演劇専用とか…）にして差別化を図るべきだと思います。	B
81	サンシティは是非歴史ある劇場としての機能にしていきたいと思います。そのためにもどんな団体が楽屋を使用しても綺麗で使いやすいことや今以上のバリアフリー化をしてほしいです。	B
82	現施設では、文化施設でありながら、ホール以外の施設での楽器練習が叶いません。所沢ミュージックのような、リハーサル室も別途貸し出し可能な構造になると、稼働率が上がるのではないかと思います。 また、高齢者やお身体の不自由な方の利用について、特に大ホールはエレベーターが設置されたりしているものの、座席までの移動が大変分りにくい、階段がとて多くトイレなどが使いにくいなど、やはりユニバーサルデザインの観点からも建替えが理想的だと考えています。	B
83	越谷市の公民館の音楽室は防音が弱く音楽活動ができません。タヒチアンバンドをやっているニュージーランド大使館やチベット国際映画祭、ギャザホールでのピアホールなどに毎年呼んでいただきショーを披露させていただいていますが、とにかく練習できる場所がありません。公民館は全て音がうるさいと出禁になりました。阿波踊りと同じくらいの音量です。防音のしっかりした音楽室を作って欲しいです。いつもは1時間2,400円する音楽スタジオを利用していますが、高いのでメンバーの負担になっています。仕事をして家族の面倒を見ながら、音楽という文化を愛して活動する市民を応援していただきたいです。	B
84	越谷サンシティは、小学生のころの合唱コンクール、バレエ鑑賞そしてママプラスに入り吹奏楽を再会し何度も大ホールで演奏した思い出の場所です、私にとっては、再び、サンシティに似たホールをたててほしいのと現在の建物の一部を再利用し、少しでもいいのでおもかげを残してほしいです。昔や今の写真をあつめて、旧越谷サンシティの思い出ギャラリーができれば、私はうれしくて思い出にひたってしまうと思います。	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

イ 図書室

No.	意見（要旨）	区分
85	<p>《図書館》情報ハブとして地域の情報拠点 「知のインフラ」としての図書館は社会教育のための機関であり、無料のため気軽に利用でき、社会のセーフティーネットの役割も果たしています。幅広い世代が利用でき、子どもたちの食事や学習をサポートする施設を併設することで家庭や学校以外の場である「子ども第三の居場所」ともなります。</p> <p>また、地域の情報資産を保有する図書館は、情報ハブとして地域の情報拠点となり、地域課題解決支援（ビジネス支援・行政情報提供）、個人の自立化支援（医療関連情報提供・法務関連情報提供）、地域の教育力向上支援（学校教育支援・子育て支援・地域情報提供・地域文化発信）を通して地域の課題解決における総合窓口としての役割を果たすことができます。</p>	B
86	<p>施設には、南部図書室、出張所は残して頂きたいです。</p>	B
87	<p>学生から若い人には、自習スペース、図書館、友だち同士やカップルがお喋りしに行きたくなるスペース作り（色んなソファやイスやテーブルや机を置いて、居心地がいいスペース作り）を目指して欲しいです。</p> <p>とりあえず、サンシティに行こっか！と思えるような施設を目指して欲しいです。</p>	B
88	<p>図書室については、民間企業とも組んで、もっと気楽に利用できる街なか図書室という位置づけには如何かと思えます。</p>	B
89	<p>核となる機能に「図書館」が含まれているが、昨今は「本離れ」が言われている。どう克服するつもりか？ 利用者は限定されているのではないか？ また「カフェなど」とか「併設などにより」という様に「など」の部分をもっと具体的に提示するべきと思料します。</p>	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

## Ⅰ 広場

No.	意見（要旨）	区分
90	<p>《広場》街の回遊の核</p> <p>広場は、周辺店舗との相互利用が期待され回遊行動が活性化し、街の賑わいを創出すると共に、空間の質を高める取り組みは街全体の質を改善するのに役立ちます。広場をカフェ、パフォーマンスなどの日常的な賑わい活動の場とすることにより、街全体の魅力向上、回遊性の向上など、周辺への波及効果が期待できます。また、同時にコミュニティを育んだり、人の目が増えることで監視性が高まり、広場周辺の安全性・安心感の向上にも寄与します。広場で定期的に越谷の農産物のマルシェを開いたり、産業フェスタの一部（鴨ねぎ鍋やライブステージ、一般消費財関連の物販・飲食等）を開催してはいかがでしょうか。阿波踊りの特設ステージイベント等を開催することで非日常の賑わいを創出することもできます。</p>	B
91	<p>公園を中心とした「日常の居場所」づくり：南越谷駅周辺はコンクリートに囲まれており、息抜きができる緑地が圧倒的に不足しています。敷地の中央や外周に開放的な公園（広場）を配置し、その緑を眺める形で「カフェ」や「スーパーマーケット」を設けてください。これにより、買い物のついでに子供を遊ばせたり、仕事の合間にリフレッシュしたりできる、市民の生活の質（QOL）を高める拠点になります。</p>	B
92	<p>防災拠点としての機能強化：公園（広場）を拠点とすることで、災害時の避難や救護活動のスペースが明確になります。また、隣接するスーパーが備蓄・供給の役割を担うことで、非常に実効性の高い「防災公園」としての役割を果たせます。</p>	B
93	<p>2歳の孫がいますが市役所に遊び場がないことに驚いています。</p> <p>シングルマザーの娘は体が弱く1人で市役所に行けません。手続きの間子供を預かってくれる場所があるのは、先進国の常識とまでは言いませんが、せめてサンシティに無料の遊べる場所を作って欲しいです。少子化に伴い高齢の方の施設は増え、子どもの居場所がどんどんなくなっていると感じます。</p> <p>オーストラリアでは、公園のすべてに大人しか開けられないような柵があり、交通事故防止につながっています。共働きが当たり前になり女性への負担が増える昨今、公園くらい安心できる場所に変えて行ってほしいです。オーストラリアの公園をぜひ参考にしてください。そのような公園を取り入れている市町村も増えてきています。</p> <p>越谷市は子どもの数も少ない方だと思いません。高齢者ばかり優遇して公園でのボール遊びを禁止したり、遊具を整備せず壊れたら撤去したりするのではなく、もっと安全で楽しく大人も子供も集まれる場所を、レイクタウンだけではなく、市の中のすべての公園に広めてほしいです。子供は宝という姿勢を見せて欲しいです。</p>	B
94	<p>新しいサンシティにドッグランを設置してほしいです。近隣にはドッグランがなく（近くても草加市のそうか公園くらいまで行く必要がある）、愛犬家は不便を感じています。ペットとの共生は今後ますます重要になってきます。越谷市がそれをリードできれば、移住者にとっても魅力になります。</p> <p>また、サンシティにドッグランができれば、災害時にペットと一緒に避難できる拠点にもなります。</p>	B
95	<p>ホールの規模縮小と空間の有効活用：2,000席という大規模ホールは、建物の巨大化を招き、駅前の圧迫感を強めます。ホールの規模を市民が使いやすいサイズに抑え、その分、屋外の公園スペースを広く確保すべきです。「非日常」のイベント時だけでなく、365日機能する「公園」こそが、真のにぎわいを生むと考えます。</p>	C

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

オ その他の公共施設（機能）

No.	意見（要旨）	区分
96	<p>サンシティの跡地の利用に関しては、競技場やアリーナ等の特定の分野の施設ではなく、市民の皆様が気軽に利用できるような施設、多目的に活用できるような施設がよろしいのではないかと思います。</p> <p>例えば、今までのホールを更に発展させた施設（劇場・映画・講演会等多目的に活用可能）や我が越谷市の位置づけや発展の経緯が解かるような資料館が適しているかと思えます。</p> <p>一つの例として資料館を上げましたが、越谷市を取り巻く環境や今まで発展してきた経緯・歴史や生い立ち・未来へ向けての展望などを展示できると新しく越谷市に転居してきた方にも馴染みやすいかと思えます。</p> <p>越谷市の特徴は、5つの大きな川に囲まれたところです。</p> <p>普段は以前からの原風景が残された住みやすい街ですが、反面常に災害と隣り合わせです。</p> <p>今まで越谷市で発生してきた自然災害の紹介コーナーなども設けて地域の安全を守る防災拠点のひとつとして活用できると良いと思えます。</p> <p>越谷市は南北に日光道中（日光街道）が通り江戸時代から発展してきた街です。大きな川に囲まれ水運等の物流や人の往来も盛んな土地柄です。</p> <p>それに纏わる史跡や資料も数多く残っています。ただしそれらにたどり着くまでの案内や道しるべになるものがほとんどありません。</p> <p>是非この機会に市民の皆さんに活用していただける「資料館」の設置を願ってやみません。</p>	B
97	<p><b>【越谷の歴史と文化を後世に伝える「越谷市立総合博物館」の設立】</b></p> <p>（現状）越谷市においては、市内の歴史的・文化的遺産を保存し、更に展示する施設がないため、これら地域の重要な遺産（民芸資料・古文書など）が散逸し続けており、当市の歴史が消滅していくことでもある。また、展示施設がないことは中核都市において当市のみという大変不名誉な状況である。当市の人口は、市制開始当時の3万人から60年を経た現在の34万人に急増している。展示施設がないことは、新しく市民になった方々だけでなく、全市民が越谷の歴史に触れる機会が希薄であり、郷土に対する関心を醸成することはできない。郷土を知らないということは、郷土を愛することができないということである。郷土を知らない市民に郷土の歴史を知っていただくための施設が必要であり、持続可能な社会構築のため、これまでの越谷の歴史を中心に振り返り、歴史、文化、産業、民族、芸能などにわたって、後世に伝える博物館を設立して頂きたい（越谷市郷土研究会会員の総意）。</p>	B
98	<p>第6回で博物館などいきなり話が飛び出してきたが大反対です。</p> <p>アリーナかホールかという話でかなり揉んだのに滑りこみでそんなの追加したら一部の人間の思惑のみで進み審議会の意味がありません。</p>	B
99	<p>会議議事録を拝見しますと、博物館のやり取りなど声の大きい主張に引っ張られている印象を受けました。今後の協議でご留意いただければと思います。</p>	B

凡例＝A：方針（素案）に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針（素案）には反映しません D：その他



## ② 「民間施設」の方向性 ご意見（No.100～No.114）に対する審議会の考え方

「民間施設」の方向性について、教育機関、宿泊施設、商業施設や事務所機能、地域ブランド発信拠点等の方針（素案）に例示した機能の具体的なイメージに関するご意見や、ホール機能との相乗効果を踏まえた検討、マンション整備に関するご意見をいただきました。

民間施設については、民間事業者の提案により機能を決定することとしております。いただいたご意見にある個別の機能やその具体的なイメージについて、民間事業者が参画可能な条件であるかを、対話を通して確認する必要があると認識しています。

一方で、市の貴重な公有地を活用する事業として市の施策に貢献する施設となるよう公共施設（機能）との相乗効果や地域ならではのにぎわいの創出に寄与する必要があるとも考えます。

方針策定後、敷地全体を一体的に整備・運営することを踏まえ、民間事業者との対話を行いながら、「民間施設」の具体的な条件を検討するよう市に申し伝えます。

●ご意見一覧(② 「民間施設」の方向性)

No.	意見(要旨)	区分
100	一市民として、サンシティの建て替えを楽しみにしています。 南越谷は、東武線、JRの乗り換え駅なのに、活性化が図れていないと思います。宿泊施設が少ないところが原因かと思っています。こんな便利な場所なので、もったいないです。宿泊施設があれば、滞在する人も増え、駅前の商業施設や飲食施設もにぎわうのではないかと考えています。大きいホールを作るのであれば、遠方から訪れる人のために余計に必要かと思っています。高級ホテルではなく、ビジネスホテルで充分かと思っています。ショッピングモールは、イオンレイクタウンやヴァリエがあるので、大きな施設はいらないと思います。	B
101	商業地域に関しては、市内に部屋数の多いビジネスホテルが無いので、事務室との併設ビルが良いと思います。 *応募事業者選びが大変でしょうが。	B
102	駅チカという立地なのに、以前ホールが大規模改修することになったときは、本当にかっかりしました。中核市にふさわしい新しい街づくりに取り組んでいただければと思います。 同規模の都市と比べて明らかに不足しているのが規模の大きいホテルだと思います。敷地の西側を超高層建物にして高層階を分譲マンションに、中層階をホテルに、低層階をショッピングエリアにすることで採算性も向上すると思われます。	B
103	市の一等地での整備ですから民間事業者にとっても大きなビジネスチャンスが眠っているでしょうし、そのチャンスを民間事業者が享受いただき市とWin-Winの関係にしていればよりよい施設になると思います。 民間施設についてあえて言わせていただければ、ホテルは必須だと思います。都内のホテルはビジネスでも高額です。それゆえ都心近郊エリアは市場性があると思います。南越谷の交通の便を活かしハブとしての機能に期待できます。	B
104	民間施設の例としては、記載のあったホテルも良いと思いました。例えばタワーマンションの高層階にホテルを併設し、そのホテルの展望レストランから、越谷市街を眺めながら食事などができれば素晴らしいと考えます。	B
105	「シビックプライドを醸成するシンボリックな空間」、素晴らしい考えだと思います。県東部の中心都市の南越谷のランドマークとして、できれば、市内のどこからでも見え、草加や春日部市にはない、超高層40階程度の立派な建物を併設してほしいと思います。	B
106	人口減少でどうなるか分からない、修繕が大変なタワマンにするなどはやめてもらいたい。	B
107	地域のシンボルとして位置付けるのであれば、民間施設は分譲マンションや賃貸オフィスといった収益施設は適さないと考えております。	B

凡例 = A:方針(素案)に反映します B:今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

No.	意見（要旨）	区分
108	<p>現在、越谷市内では、不登校や多様な学びを求める中高生が増加傾向にある一方で、その受け皿は十分とは言えず、多くが春日部や大宮といった市外の通信制高校等へ流出している現状があります。一方、南越谷・新越谷周辺では民間教育施設への需要が高まりつつあり、交通利便性の高いこのエリアに、質の高い「通学型通信制高校」を整備する意義は極めて大きいと考えます。</p> <p>こうした背景を踏まえ、民間施設の方向性として、教育分野における PPP（官民連携）を中核に据え、通学型通信制高校を核とした教育拠点の整備を強く提案します。多様化する教育ニーズに対し、個別最適な支援環境を実現するためには民間のノウハウが不可欠であり、教育分野においてこそ PPP は選択肢ではなく前提条件となるべきです。</p> <p>また、この教育拠点を経済的にも持続可能なものとするため、以下の二点の機能付加を求めます。</p> <p>第一に、生活密着型商業機能（スーパー、日用品等）の導入です。</p> <p>生徒や保護者が日常的に訪れる施設において、送迎や授業の待ち時間を生活消費につなげられる環境は、イベントの有無に左右されない安定した来街頻度と滞在時間を生み出します。これは施設運営の基盤を支えるだけでなく、多世代の目が行き届くことによる地域の治安や安心感の向上にも寄与すると考えます。</p> <p>第二に、「教育、交流型」のホテル機能の導入です。</p> <p>今後、レイクタウンエリアに大規模アリーナが整備された際には、市外県外からの宿泊需要が見込まれ、その受け皿として南越谷や新越谷エリアを活用することが不可欠です。「アリーナ（イベント）はレイクタウン」「宿泊、教育、日常利用は南越谷」という明確な役割分担と回遊動線を設計することで、越谷市全体への経済波及効果の最大化が期待できます。ホテルについても、単なる宿泊機能にとどまらず、教育プログラムや研修等と連携した滞在拠点とすることで、サンシティの文化的特性とも調和した活用が可能になると考えます。</p> <p>PPP を前提に、教育、生活、滞在が有機的に結びついた拠点としてサンシティが再生され、越谷市全体の価値向上につながることを期待します。</p>	B
109	<p>老若男女が集えば、企業も誘致しやすいかと思います。飲食店や病院、本屋さんやダイソーみたいなお店、乳幼児用には西松屋か赤ちゃん本舗、マツキヨのようなドラッグストアも。夕飯やランチのお弁当が買えるスーパーやコンビニも欲しいです。リラクゼーション系も良いかと思います。</p> <p>市民の健康も目指したいので、ジムも良いし、簡単に使えるアスレチック器具とかはソファのあるフロアの一画に配置して気軽に使ってもらえるようにするのも良さそうです。</p>	B
110	<p>「民間施設」の方向性の【参考】審議会等で示された民間施設の例「商業飲食施設、物販施設」では総合スーパーマーケット（現行の Aeon やヤオコー等）の誘致をしてください。</p>	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

No.	意見（要旨）	区分
111	遊園地設備の装備。屋上広場、公園の建設。複数の様々な Grade のレストランを誘致し、グルメシティー化。越谷ブランドの販売店設置。	B
112	新たに習い事に使えるようなカルチャーセンターも入れて頂きたいです。	B
113	<p>《商業施設》</p> <p>「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出懇談会 報告書」によれば、想定吸引率に基づく余力としての商業施設の売場面積を、草加レベルの吸引率で想定した場合“現在の売場面積に加えて 5,823 平米の売場面積の余力”、新越谷 1km 圏内の消費支出を 100%吸引すると想定した場合“現在の売場面積に加えて 11,389 平米の売場面積の余力”があるとされている。仮にサンシティの商業施設だけで新越谷 1km 圏内の消費を取り切ることを目指した場合、現在の売場面積（約 20,000 平米）の約 1.5 倍の売場面積を持つ施設が必要とされることになる。</p> <p>一方、現在半径 1km 圏内に主要な食品スーパーは約 10 店舗あり大部分が外周部に位置している。その取扱商品は生鮮三品を中心に NB 商品・系列チェーンの PB 商品であり、現在の商業施設の来場者数減少の根本的要因は明らかである。半径 1 km 圏内にある主要な食品スーパーとの差別化は必須。</p> <p>1 次エリア内商圈人口一人あたりの小売業関連消費支出は 2 次エリア・3 次エリアと比べ格段に（約 1 割）高いにもかかわらず吸引率が低いのは、世帯構成から見ても、急速に利便性が高まった EC による流出、消費者ニーズとのミスマッチ等、売場面積以外の流出原因を考慮すべき必要がある。</p> <p>消費者の高い来訪意識を引き出せる施設が望ましく、専門性高く・対面を主軸とする形態の衣・食・住・カルチャー等多様な小規模な施設の集積体とすることで来訪目的はより高まると考える。どこにでもあるチェーン店目指して南越谷に行こうとは思わないでしょう。</p>	B
114	民間施設の導入に関する方向性が不透明である。「民間事業者の提案により機能を決定する」との記載は、柔軟性という点では理解できる。しかし、公共施設との調和、地域性との整合性、利用料金への影響など、市民生活に直結する要素が多いにもかかわらず、一定の方向性や条件が示されていない。公共性の担保と市民利用の公平性を確保するための枠組みを、事前に明確化する必要がある。	B

凡例 = A:方針(素案)に反映します B: 今後の参考とするよう市に伝えます C:方針(素案)には反映しません D:その他

#### 4 事業手法 ご意見（No.115、No.116）に対する審議会の考え方

事業手法について、公共施設と民間施設の複合化に関するご意見と市の財政負担を最優先した事業条件の設定に関するご意見をいただきました。

公共施設と民間施設の複合化については、市民の使いやすさ、受け入れるコンテンツの豊富さ、多くの人が日常的に使える施設になるといった観点から、審議会においても意見があり、方針（素案）においても検討事項としております。

また、事業条件の設定については、民間事業者の事業収益を市へ還元する手法に関する意見が挙げられた一方、本事業への参画意欲に関わる部分でもあることから、今後、適切なスキームを検討することについて市に申し伝えます。

●ご意見一覧（4 事業手法）

No.	意見（要旨）	区分
115	<p>現在の越谷サンシティは「横方向」（平面面積）が軸となる、商業棟とホール棟が独立した構成になっており、「縦方向」（延床面積）の開発が事実上不可能な状況となっている。</p> <p>また、素案にて示されるリノベーション案では、集客性を担保する十分な延床面積を確保するのは難しく、テナントとして商業棟の魅力が向上する見込みが低いと考える。</p> <p>中長期的な魅力・街の賑わいを創出するという観点で言えば、建て替えにより商業棟・ホール棟が一体となった複合施設（例：大宮ソニックシティビルなど）にすべき。</p>	B
116	<p>事業手法の中で、民間側に対してやる前からの言い訳になっている感がある。民間側に気兼ねすることなく、市の財政負担が優先されるべきである。民間が出てこない様な事業は、それ自体に魅力が無いものと考えます。</p>	B

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

## その他のご意見（No.117～No.125）に対する審議会の考え方

その他、レイクタウン地区、越谷駅前、現在の越谷サンシティなどに関するご意見をいただきました。

本審議会は、今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の策定に関し必要な事項を調査審議する目的で設置されているため、所掌外となりますが、いただいたご意見については、市に申し伝えます。

●ご意見一覧（その他）

No.	意見（要旨）	区分
117	<p>サンシティがホール案で再整備される一方で、レイクタウンのアリーナ整備支援事業については民設民営であることを理由にパブリックコメントの実施予定がありません。しかし、事業の性質は市の説明と必ずしも一致していない部分があるように思います。</p> <p>市長が民間で集める資金の不足分を市が負担する可能性に言及した時点で、アリーナ事業には市税が関与する可能性が生じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地を長期間にわたり民間が使用する</li> <li>・市長が「資金不足時は(市民の理解を得た上で)市が負担する」と発言している点</li> <li>・市が財政リスクを負う可能性がある点</li> </ul> <p>これらの状況から、アリーナ整備支援事業は、市が一定の財政負担やリスクを負う可能性を含む事業であり、民間事業を支援するだけという説明では実態を十分に捉えきれていないのではないのでしょうか。</p> <p>市有地貸付による収益や地域活性化といった公益性が期待される点は理解しています。ただし、公益性の判断には、メリットだけでなく、市が負う財政負担やリスクも含めた総合的な検討が必要です。</p> <p>アリーナ整備支援事業について、市の関与が一定程度見込まれる以上、市民意見を把握する手続きが求められるのではないのでしょうか。市の目指す姿として、総合振興計画にもパブリックコメント等の制度を有効活用すると示されていました。説明会や意向調査アンケートは参考資料にはなりますが、パブリックコメントのように市が回答義務を負い、意見を行政判断に反映する仕組みとは性質が異なります。そのため、市民意見を丁寧に反映する手続きとしてアンケートだけでは十分とは言えないのではないかと感じています。土地貸付や計画掲載の段階では公共性を強調し、財政負担の議論になると民間事業と位置づけるのは、行政説明として一貫性を欠いているように見えます。</p> <p>民設民営という形式的な言葉にとらわれず、アリーナ建設についてもパブリックコメントを実施し、市民意見を正式に受け止める機会を設けていただきたいです。</p>	C
118	<p>サンシティのあり方についてパブリックコメントが実施されているのと同様に、レイクタウンの市有地活用（アリーナ予定地）についても、公的な意見募集の場を設けてほしいです。説明会で市は当該用地を「将来、必要になるかもしれない地域の拠点として確保していた」と説明していました。その目的を、市全体のためという理由で、本来想定されていた「地域住民のための拠点」から「広域集客施設（アリーナ）」へと転換しようとしている状況にあります。このような変化が生じる以上、合意形成のあり方や公共性の確保について要望いたします。</p> <p>1. 意見公募の実施</p> <p>アリーナ事業は民設民営が基本とのことですが、その基盤となるのは市民の共有財産である市有地です。そのため、民間が何を建てるか以前に、市がどのような条件で土地を貸すのかについて、市民に丁寧に説明し、地域の人たちがどのように納得するかというプロセスを確保することが重要だと考えています。また、サンシティ再整備との役割分担を踏まえ、アリーナ内に行政サービスの代替機能など、どのような地域貢献を求めるのかについても、検討段階から市民の声を反映できる仕組みがあると望ましいと考えます。決定後に報告を受けるだけでは、市民参画の機会としては十分ではないように思われます。検討段階こそ、市民が意見を伝え、市がそれに応じるプロセスを確保していただきたいです。</p> <p>2. ニーズ調査の透明化と反映プロセスの公開</p> <p>説明会や単発のアンケート調査の結果のみで地域の理解が得られたと判断するのではなく、調査設計・回収方法・集計プロセスを公開していただくことで、調査結果がどのように判断材料として扱われたのかを市民が適切に理解できるようになると考えています。また、市民から寄せられたニーズや懸念が、民間事業者との契約にどのように反映されたのかについても、検討プロセスを明らかにしていただくことで、市民としても納得感を持つことができます。市民全体の財産を扱う行政として、説明責任・監督責任を果たしていただくことを求めます。</p>	C

凡例＝ A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他

No.	意見（要旨）	区分
119	<p>サンシティの今後の方向性を検討されるにあたり、南部図書館への機能集約だけでなく、レイクタウン地区における図書サービスの充実についても併せて検討していただきたいです。レイクタウン地区は人口が増加し、特に子育て世代や学生が多い地域であるにもかかわらず、近隣に常設の図書館や図書室が存在しません。市立図書館や南部図書室から距離があるため、日常的に利用するには負担が大きく、地域の需要に十分応えられていない状況にあります。移動図書館やデジタルサービスでは、児童や高齢者にとっては利用が難しい場面も多く、気軽に立ち寄れる読書・学習の拠点としては不十分です。また、学生の多い地域であることを踏まえると、学びのインフラが追い付いていないように感じます。学習スペースや資料へのアクセスを確保することは、教育委員会が推進する読書機会の拡充にも資する重要な取り組みになると考えます。こうした状況を踏まえ、レイクタウン地区に分館を設置することや、予約資料の受け取り・返却が可能な図書カウンターを設けることなど、地域に応じた図書サービスの提供方法をご検討いただければ幸いです。サンシティの再編とあわせて、レイクタウン地区における図書サービスの整備についても前向きにご検討くださいますようお願い申し上げます。</p>	C
120	<p>レイクタウンにアリーナは不要です。 市民には重要性が無い、バスケットボールのためにお金を使用しないで下さい。 現状の越谷市立体育館の改修に留めて下さい。 バスケットボールに興味のある市民はほんの一握りです。 越谷市立病院の改修や、レイクタウンの公立学校の新設など市民にとって、もっと重要な社会インフラからお金を使用するのが行政機関の責務であります。</p>	C
121	<p>素案に関係ありませんがレイクタウンアリーナもおおいに期待しています。</p>	C
122	<p>越谷駅前のツインタワーも中途半端で勿体ないです。立地がいいだけに色々残念です。一緒にリニューアルされてはいかがでしょうか？</p>	C
123	<p>《小さな商いの持続可能な経営環境整備の必要性》 南越谷・新越谷地区に限らず、各駅前の商店街の衰退の原因を見つめ直し、個人商店規模の小規模な商いが持続可能となる環境を整備する必要性を痛切に感じる。小さな商いが成り立たない街はどこか歪んでいる。</p>	C
124	<p>越谷市は川がたくさんあります。泳げるレベルの川にして欲しいです。賛同する市民はたくさんいると思います。サンシティはたくさん人が集まる場所です。そういった活動にも使って欲しいです。オンラインでの働き方が広まり、能力のある人はどんどん田舎へ流れていくかも知れません。越谷市も、いろいろやってるかと思いますが、川が泳げるレベルになれば、かなりのブランディングになると思います。一市民の言葉なんて届くと思っていないですが、人も集めますし力になります。どうかよろしくお願いします。</p>	C
125	<p>現状の越谷サンシティは、施設としてまだ使用可能だと思いますし（習志野市も暫定的に10年間再利用で延長する方針に変更しました）、立地もまずまず（交通結節点）なので、現状でも、更なる集客に努力すべきだと思います。ホールの稼働率が良いとの記述もありますが、個人的には、見たいと思う出し物（劇団四季や売れ筋の人気アーティスト）が以前に比べ、減ったと感じています。 例えば、大ホールでは、武蔵野線で行くことが出来るディズニーランドのショーや、サンリオのショーを、越谷サンシティに呼ぶことが出来れば、観に行きたいと考えます。（ディズニーやサンリオにとっても、埼玉東部の市民を、本場の舞浜や多摩センターに呼ぶ宣伝になると思います） 小ホールについても、東武沿線にほぼ皆無となった映画館の代理として、ロードショー（最新作でなくても準じた映画の上映など）を上映したり、都心のイベントホールなどでやっている「地下アイドル」が多数参加するライブを定期的で開催（イベントホールで開催できればそれでも良い）するなど、現状でも頑張っているとは思いますが、今以上に努力してほしいと考えています。また、現状のイオン南越谷店などの民間施設についても、混んでいて買い物しにくいコストコ食品部門などを入れることができれば、集客にもなり、素晴らしいことだと思います。</p>	C

凡例＝A：方針(素案)に反映します B：今後の参考とするよう市に伝えます C：方針(素案)には反映しません D：その他